

福祉・保健医療分野

DX

推 進 計 画

目次

■ 1.はじめに	03
■ 2. DX推進計画の位置付け	04
■ 3. 取り巻く状況	05
■ 4. これまでの取組	06
■ 5. 今後の取組	10
(1) 局事務事業	10
① 重点事業	11
② 局事業	32
(2) 都政の構造改革	61
① ワークスタイル変革	62
② 事業所DX	64
③ 行政手続のデジタル化	77
④ 窓口のDX	80
■ 6. こどもDXの推進	83
■ 参考資料 重点事業・局事業一覧	87

1 はじめに

DXによる誰もが幸せに暮らせる社会の実現

- 我が国の総人口は2008年にピークを迎えた後、減少局面に入り、2100年には総人口が約6,300万人へ半減することが推計されています。都においては2030年をピークに人口は減り続け、生産年齢人口の減少にも歯止めがかからないまま、2035年には4人に1人が高齢者となる見込みとなっています。
- 日本をけん引する首都・東京において、行政サービスを提供する都職員もこれまで以上に限られた人的資源で、多様化・複雑化を続ける一人ひとりの都民ニーズに応えていくことが必要です。
- 従来の仕事の進め方では、時代に合った都民サービスを提供することは困難となる局面も生じています。都政のQOS（クオリティ・オブ・サービス）向上を都民が実感しQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を上げていくため、職員自身のマインドセットの変革も行いながら、デジタルの力を最大限発揮し、誰もが幸せに暮らせる持続可能性のある社会を実現していかなければなりません。
- 1,400万人の都民の生命と健康を守り、福祉・保健・医療サービスを将来に渡って支えていくため、2023年7月に「福祉保健局」を「福祉局」と「保健医療局」に再編し、各分野の連携を継続した上で、より高い専門性を発揮し、更なる機動性をもった施策展開を図っています。
- 施策効果を更に高めるため、都が保有するデータ資産を有効活用し、スピードアップ、スケールアップ、クオリティアップを実現する施策のデジタル化・DX推進が重要です。新型コロナウイルス感染症への対応でデジタル化の課題が顕在化し、これまでも各施策においてデジタル化に取り組んできました。2023年4月には、DXによって2030年に目指すべき到達点と、その実現に向けた取組の方向性を明らかにする「福祉・保健医療分野におけるDX加速化方針」を策定しました。
- 本計画は、このDX加速化方針を受け、2025年度までの具体的な取組を定めた計画であり、重点事業の設定や利用者の満足度調査により、デジタル化、DXの推進を実効性のあるものにしていきます。これらの取組を都庁内各局に加え、行政の立場でDXを担う方々にもご覧いただき、より多くの現場でDXが進んでいくよう福祉局と保健医療局が一丸となり取り組んでいきます。

2 DX推進計画の位置付け

福祉・保健医療分野におけるDX加速化方針（2023年4月）のポイント

1 2030年の到達点

- 福祉・保健医療分野のデジタル技術の活用が進み、都民・事業者の利便性が飛躍的に向上している。
- デジタルの力で民間事業者の事務負担や福祉・医療従事者の業務負担がさらに軽減され、利用者・患者等へのサービス提供に注力できる。
- 改革の実践により、すべての職員にとって働きやすい職場環境が整備され、職員一人一人がいきいきと仕事をしている。

2 実現に向けた取組の方向性

□ 都民サービスの利便性を向上する取組

- ▶ 各種申請等の紙ベースのみの手続をなくす
- ▶ すべての相談窓口、相談事業にデジタルを導入
- ▶ すべての手続にキャッシュレス決済を導入

□ 民間事業者等の負担軽減を図る取組

- ▶ 民間事業者のデジタル化を支援
- ▶ すべての申請手続にDXを導入
- ▶ 各分野のシステムのデータ連携を推進

□ 都政の構造改革

- ▶ 未来型オフィスの整備
- ▶ 事業所における業務改革の実践
- ▶ 行政手続のデジタル化の推進

福祉・保健医療分野DX推進計画の位置付け

- 東京デジタル2030ビジョンやシン・トセイ4を踏まえ、両局事業のDXを加速化
- 重点事業の設定や計画策定後の満足度調査の実施により、実効性のあるDXを推進
- 両局職員が一丸となって推進。庁内や他自治体の取組の参考になるよう横展開
(事業局各部によるボトムアップ型DX推進：職員の改革マインドの向上)

※計画期間は2025年度末まで。毎年度、既存事業のブラッシュアップや新規事業の追加により本計画をバージョンアップ

3 取り巻く状況

○ 国における主なデジタル化推進の動き

「自治体DX推進計画」
第2.3版
(総務省)

- 「デジタル社会の実現に向けた重点計画」等における各施策について、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化
 - 行政手続のオンライン化、AI・RPAの利用促進、自治体フロントヤード改革の推進等を重点取組事項等に記載
- ※初版：2020年、第2.0版：2022年、第2.1版・第2.2版：2023年

「デジタル社会の実現に向けた重点計画」
(デジタル庁)

- 目指すべきデジタル社会の実現に向けて構造改革や施策に取り組むとともに、それを世界に発信・提言するための羅針盤
 - 重点的な取組として自治体窓口DX「書かないワンストップ窓口」、自治体キャッシュレス等を位置付け
- ※初版：2021年、第二版：2022年

2020

2021

2022

2023

2024

デジタル庁設置

「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」
(閣議決定)

- デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会
～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～

「デジタル・ガバメント実行計画」
(閣議決定)

- デジタル庁の設置を見据えた上記の基本方針を踏まえ、国・地方デジタル化指針を盛り込む等デジタル・ガバメントの取組を加速

4 これまでの取組

- 2021年3月、目指す2040年代の東京の姿を描いた「『未来の東京』戦略」と、その実現に向けた道筋を示す「シン・トセイ」を策定
- 「シン・トセイ」は時代や状況の変化に対応するため、3回にわたってバージョンアップ
- 2023年9月には、東京のDXを次のステージへ押し上げる新たなビジョン「東京デジタル2030ビジョン」を策定



2023年度

- 2023.4 福祉・保健医療分野におけるDX加速化方針
- 2023.9 東京デジタル2030ビジョン
- 2024.1 「シン・トセイ4」
- 2024.3 福祉・保健医療分野DX推進計画

- 2023年4月、福祉・保健医療サービスの体制を盤石とするべく、局独自に「DX加速化方針」を策定
- これからのDX施策をより実効性のあるものとするため、2025年度までの具体的な取組を定めた「福祉・保健医療分野DX推進計画」を策定



2022年度

- 2023.1 「シン・トセイ3」



2021年度

- 2022.2 「シン・トセイ2」



2020年度

- 2021.3 「未来の東京」戦略
- 2021.3 「シン・トセイ」

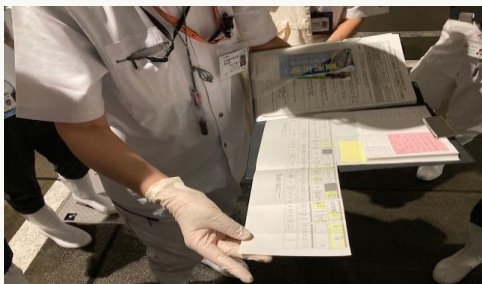
4 これまでの取組

先進的な取組により、都庁DXアワード※で2年連続大賞を受賞

(2022年度)
豊洲市場の水産物等衛生監視業務のデジタル化

見直し前

現地で紙に記入、事務所に帰って専用システムに入力



有毒魚は紙の図鑑を携行し、現場で判断



見直し後

タブレットにタッチペンで入力
その場でデータが蓄積



アプリ（タブレット）を通じて
オンラインでベテラン職員に確認



(2023年度)
福祉施設等への指導検査のオールシステム化

見直し前



検査の準備～当日検査～検査結果まで、
膨大な紙による煩雑な業務処理

見直し後

- クラウドやタブレットを活用した先進的システムへ
- 事業者は専用ポータルから書類提出検査後の都とのやりとりは全てオンラインで



※都政の現場で、職員の創意工夫により生まれたデジタルを活用した優れた取組を表彰する制度（2022年度～）

4 これまでの取組

新型コロナ対応では、DXの取組により保健所業務などが大幅に効率化（主な4つの取組）

① 新型コロナ患者対応管理ツールの導入

見直し前



- 全数管理により多くの患者を経過観察
- 発生届受理から療養終了までの各システムで管理
- 一元的な進捗管理が困難である上、職員間の情報共有や、関連業務間でのデータ引継ぎに時間がかかる

見直し後

患者対応状況を一元的に管理し、進捗の見える化や、情報のデータ検索を可能にするなど業務を効率化



(検証用)進捗管理アプリver1.0

アプリ: (検証用)進捗管理アプリver1.0

発熱 (38℃以上) 患...

HER-SYS ID	姓名	姓名 (カナ)	生年月日	届出医療機関	報告年月日	検索	条件クリア			
HER-SYS ID	保健所独自ID	姓名	姓名 (カナ)	性別	生年月日	年齢	居所	直近の体温	療養終了予定日	
777786	777786	東京 一郎	トウキョウ イチロウ	男	1998-01-15	23 歳	府中市1-1-1	38.4℃	2021-12-22	✎ ●
777788	777788	東京 四郎	トウキョウ シロウ	男	2001-01-31	20 歳	府中市1-1-1	38.2℃	2021-12-22	✎ ●

様々な条件を設定し、表形式での出力が可能に

② 電話業務への音声マイニングシステムを導入

見直し前



記録作成の負荷が大きい...

- 患者調査の際、電話で患者へ連絡
- 通話終了後、聞き取り内容の記録を作成
- 記録作成に時間がかかる

見直し後

通話音声を自動でテキスト化することで、業務を効率化

〇〇様のお電話ですか

はい、〇〇です。

保健所の△△と申します。新型コロナ発生届を確認しましたので、ご連絡させていただきました。

はい。

病院の先生から検査結果はお聞きになりましたか

はい、今日の朝に連絡をいただきました。

通話終了後



4 これまでの取組

③ SMSを活用した情報発信の強化

見直し前

- 保健所
- 電話等で患者へ連絡
 - 患者のファーストコンタクトまで**一定の時間がかかる**

見直し後

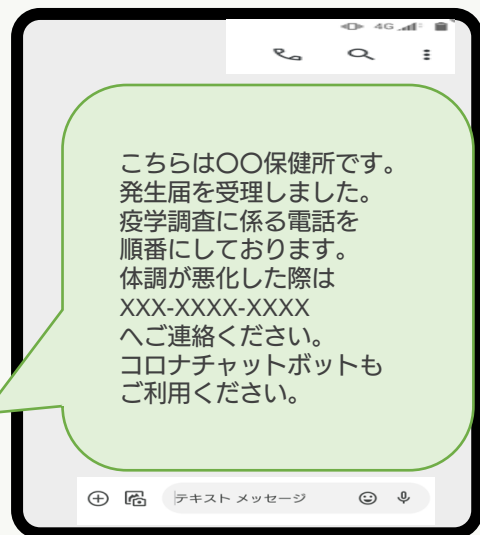
SMSを活用し、患者への迅速なファーストコンタクトを行い、患者の不安を軽減

《発信内容》

- ✓ 体調悪化時の連絡先
- ✓ 各種相談窓口
- ✓ コロナチャットボット など



情報発信



<メッセージのイメージ>

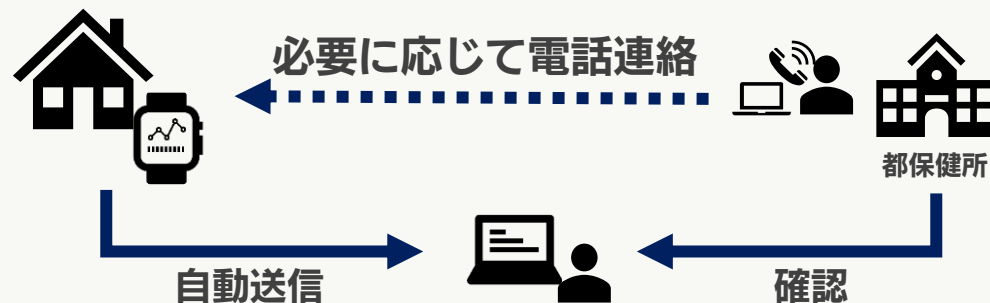
④ ウェアラブル端末による健康観察等

見直し前

-
- 自宅療養者の日々の健康観察や、入院までの患者のフォロー等を**主に電話で聞き取り**

見直し後

自宅療養者の日々の健康観察や、入院までの患者のフォロー等においてウェアラブル端末を活用し、業務の効率化や患者支援の強化を推進



5 今後の取組

(1) 局事務事業

① 重点事業

② 局事業

(2) 都政の構造改革

①重点事業

福祉分野8取組、保健医療分野9取組、共通2取組の計19取組を重点事業に位置付け

施策分類	領域		重点事業
01 「行かない」「書かない」「迷わない」福祉・保健医療サービスの提供 <small>～申請・手続・サービスのデジタル化 (オンライン・ワンストップ・キャッシュレス)～</small>	生活福祉	保健	高齢者 介護事業所の指定申請等のオンライン化 障害者 精神科病院入院業務手続のオンライン化 障害者 障害福祉サービス事業者指定申請等のオンライン化 健康安全 食品営業許可業務のオンライン化
02 未来を創るデータ戦略 <small>～データ利活用、オープンデータ等の推進～</small>			子供・子育て
03 福祉・医療のプロフェッショナルを応援 <small>～人材確保、育成支援～</small>	高齢者	健康安全	
04 スマートなシステムで業務を変革 <small>～デジタル時代の業務システム～</small>			障害者
05 デジタルの力を使って誰もが幸せに暮らせる社会の実現 <small>～業務のデジタル化 (クラウド、ノーコード・ローコード、API)～</small>	共通	共通	
06 最先端テクノロジーによる福祉・保健医療分野の業務改革 <small>～AI・ロボット・IoT、デジタルツインの活用～</small>			

※重点事業とは、特に力を入れて取り組むべき事業。本計画に記載しているスケジュールについては、現時点のものであり、必要に応じて適宜見直していく。

01 「行かない」「書かない」「迷わない」 福祉・保健医療サービスの提供

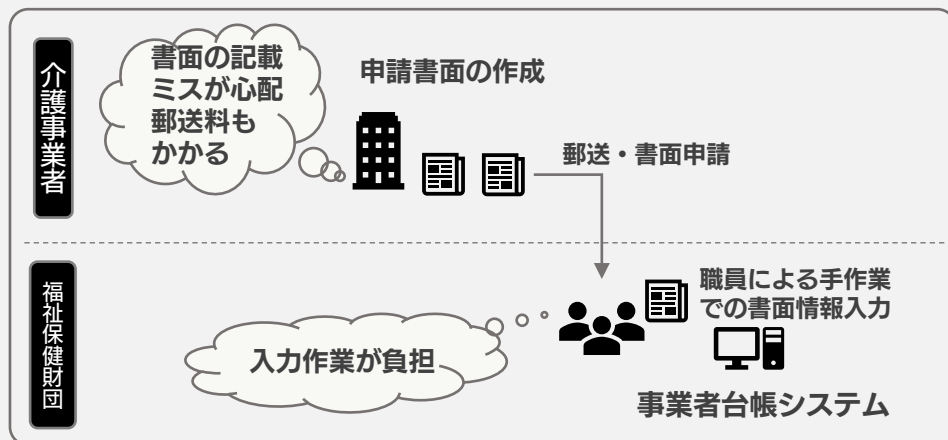
生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 介護事業所の指定申請等のオンライン化

- 国が進める指定申請のオンライン化に伴い、申請手続のオンライン化と関係システム間の自動連携を行うことで、介護サービス事業者の利便性の向上と申請受付業務の効率化を実現

今までの姿

■事業者からの各種申請・届出（書面を用いた人的作業中心）

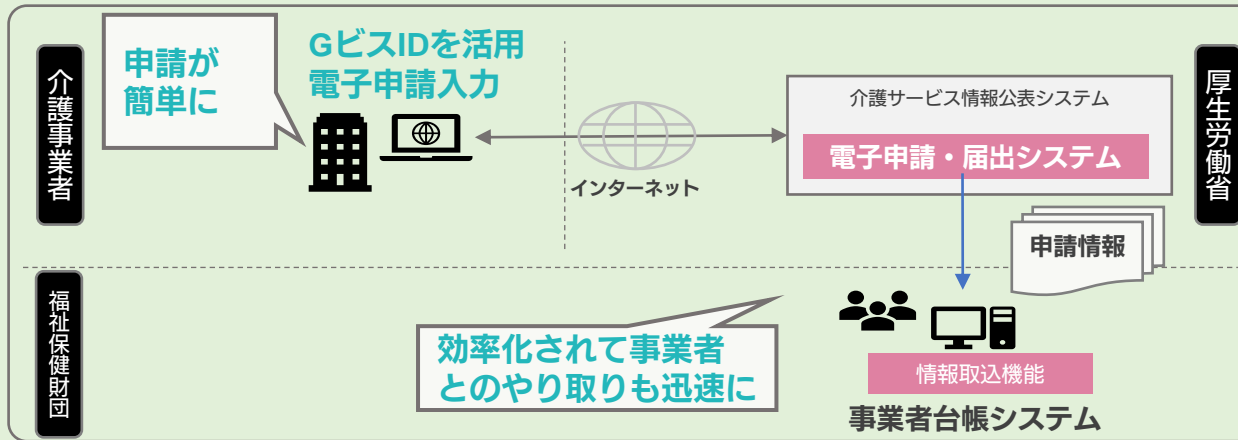


課題

- 介護事業者の各種申請・届出が書面となっており、介護事業者側に業務負担が生じている。
- 申請受付にかかる書面確認、職員によるシステム入力や紙の管理といった業務の負担も大きい。

目指す姿

■事業者からの各種申請・届出（オンライン化によるシステム処理中心）



年度別スケジュール

2023年度

- 試行実施（新規指定）

2024年度

- 電子申請・届出本格導入

2025年度

- 電子申請・届出システムと事業者台帳システムの自動連携の実現

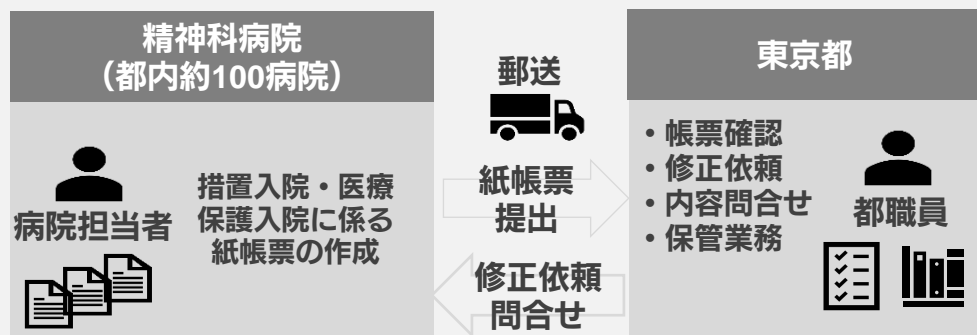
01 「行かない」「書かない」「迷わない」 福祉・保健医療サービスの提供

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 精神科病院入院業務手続のオンライン化

- 措置入院・医療保護入院に係る紙帳票のペーパーレス化を行い、精神科病院との帳票やりとり、及び帳票確認・修正依頼・内容問合せを行うシステムを構築
- 紙帳票のペーパーレス化により精神科病院と東京都の間における手続を効率化

今までの姿

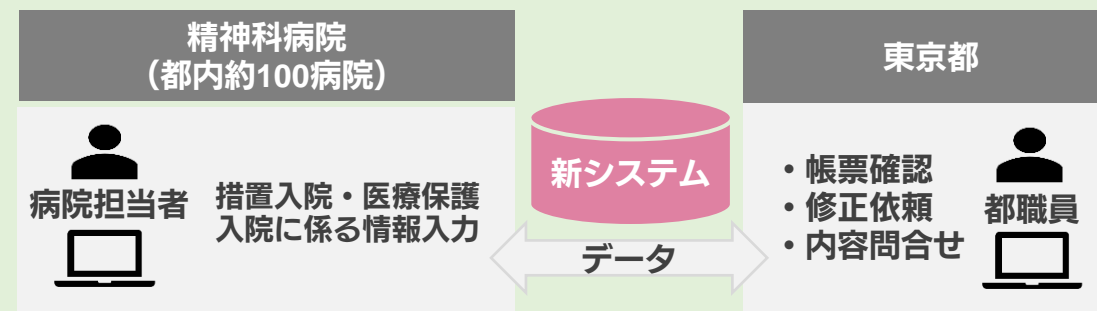


紙帳票 確認や資料
保管業務作成や郵送の
事務負担が大きい。

課題

- 措置入院・医療保護入院について、必要な紙帳票を精神科病院と東京都の間において郵送等でやりとりしており、病院担当者、都職員ともに事務負担が大きい。
- 個人情報を含む届出等に係る帳票のやりとりを行っていることから、強固なセキュリティを確保する必要がある。

目指す姿



データでのやりとりが
可能となり事務負担が軽減

年度別 スケジュール

2023年度

- システム構築に向けた課題整理

2024年度

- システム構築
- ユーザーテスト

2025年度

- 運用

01 「行かない」「書かない」「迷わない」 福祉・保健医療サービスの提供

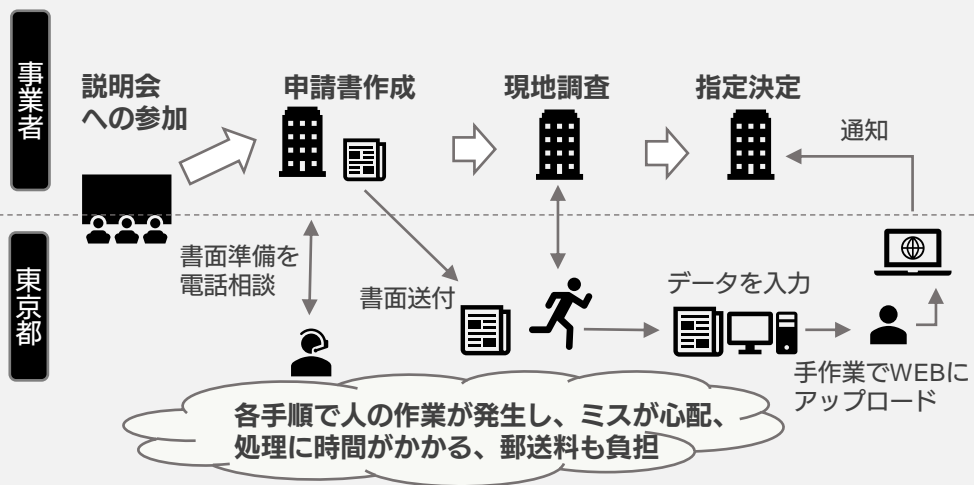
生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 障害福祉サービス事業者指定申請等のオンライン化

- ・ 障害福祉サービス事業者の指定申請に係る説明会予約から指定申請等をワンストップで手続可能となる新システムを構築
- ・ 新システムにより業務プロセスを効率化することで、事業者及び行政双方の事務負担が軽減され、サービスの質や利用者のQOL向上に直結する業務に注力

今までの姿

■事業所の新規指定の申請例（書面やツールを用いた人的作業中心）

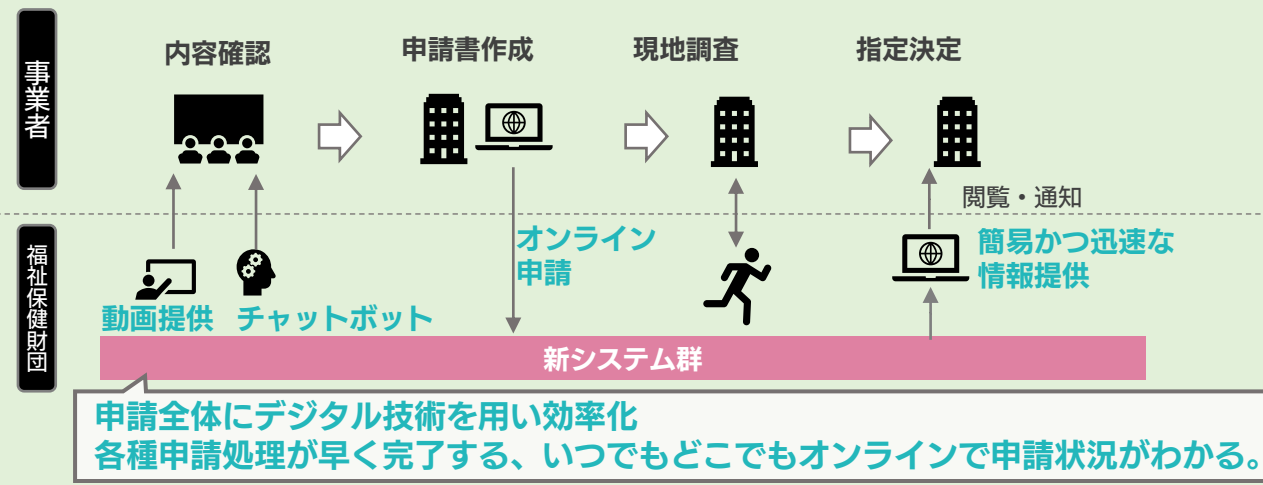


課題

- ・ 指定申請に係る形式・手続業務が多く、サービスの質や利用者のQOL向上に直結する業務に注力できない。
- ・ 都の組織内に案件情報や事業所情報を一元管理し、適時・適切に情報共有できる仕組みがなく、事業者への進捗提示も限定的
- ・ 紙の管理や決裁書類の押印を原則としていることから、事務負担が大きい。

目指す姿

■事業所の新規指定の申請例（オンライン化によるシステム処理中心）



年度別スケジュール

2023年度

- 新システム要件定義

2024年度

- 新システム構築

2025年度

- 新システム運用

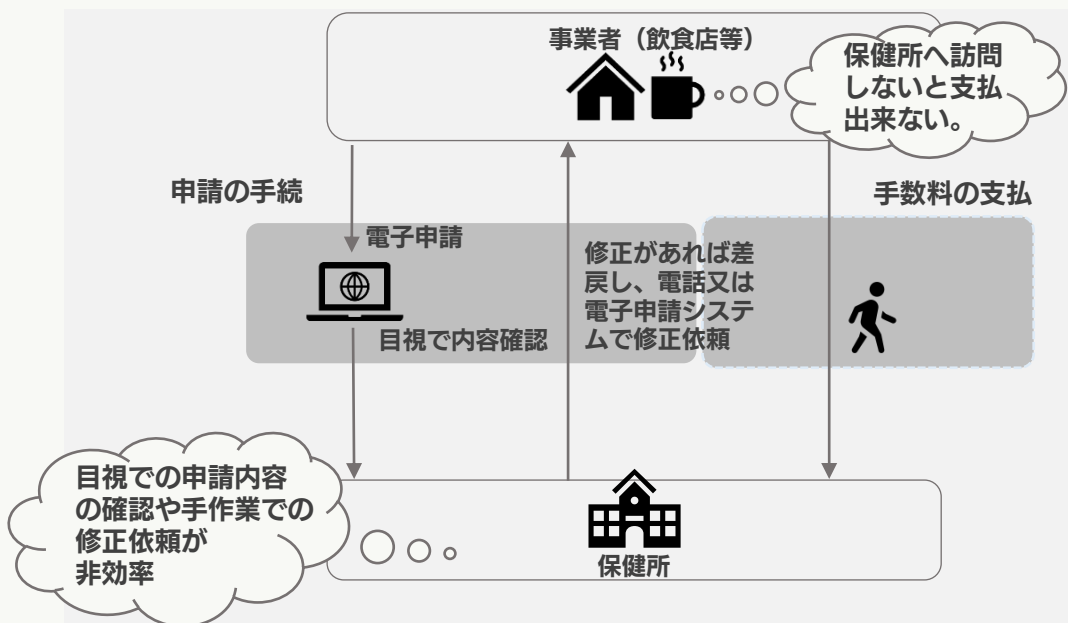
01 「行かない」「書かない」「迷わない」 福祉・保健医療サービスの提供

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 食品営業許可業務のオンライン化

- ・ 保健所における食品営業許可業務のデジタル化及び申請に係る手数料支払を電子決済に対応したシステムを構築
- ・ 食品営業許可における一連の申請の流れをオンラインで完結する仕組みを構築することにより、事業者の利便性の向上と申請受付業務を効率化

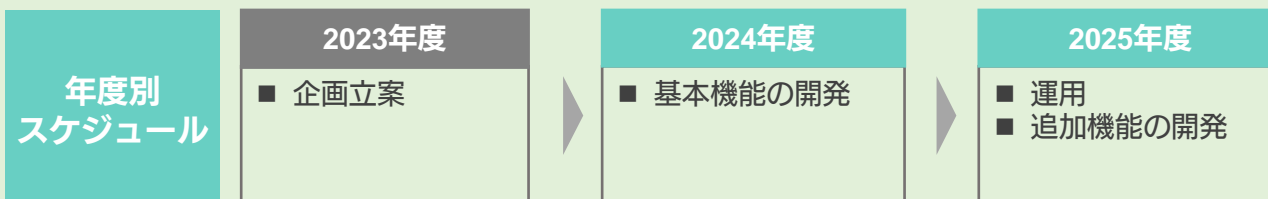
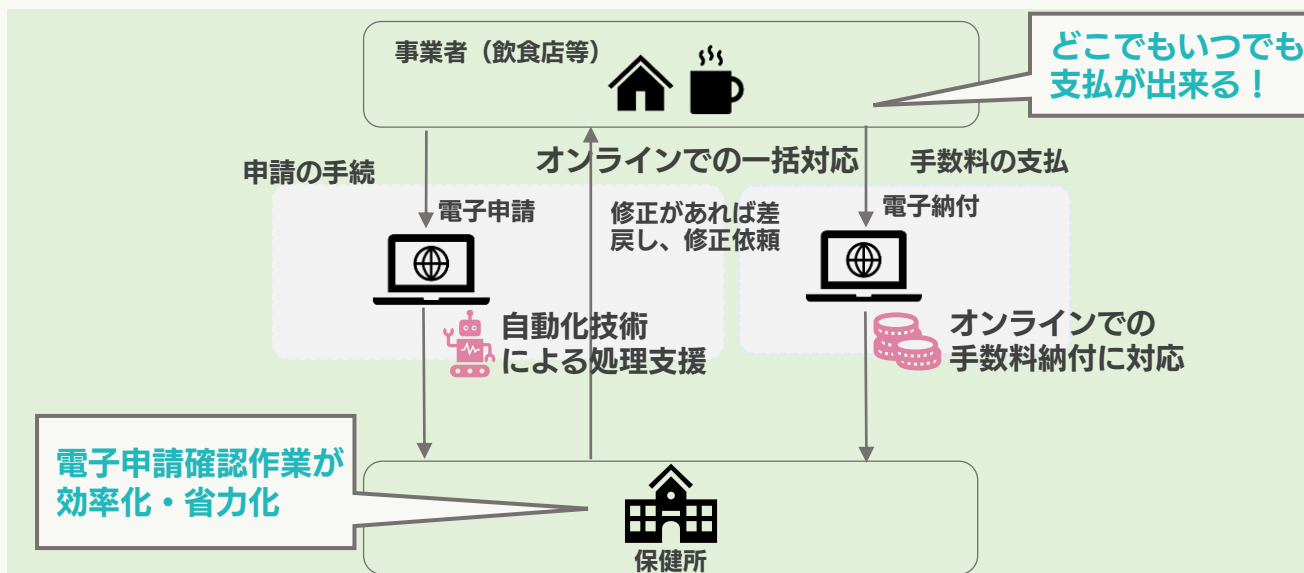
今までの姿



課題

- ・ 事業者からの申請書類と食品衛生システムとの情報照合に時間を要する。
- ・ 申請手数料支払が電子決済化しておらず、事業者は電子申請を利用しても手数料納付の際に一度保健所を訪問する必要がある。

目指す姿



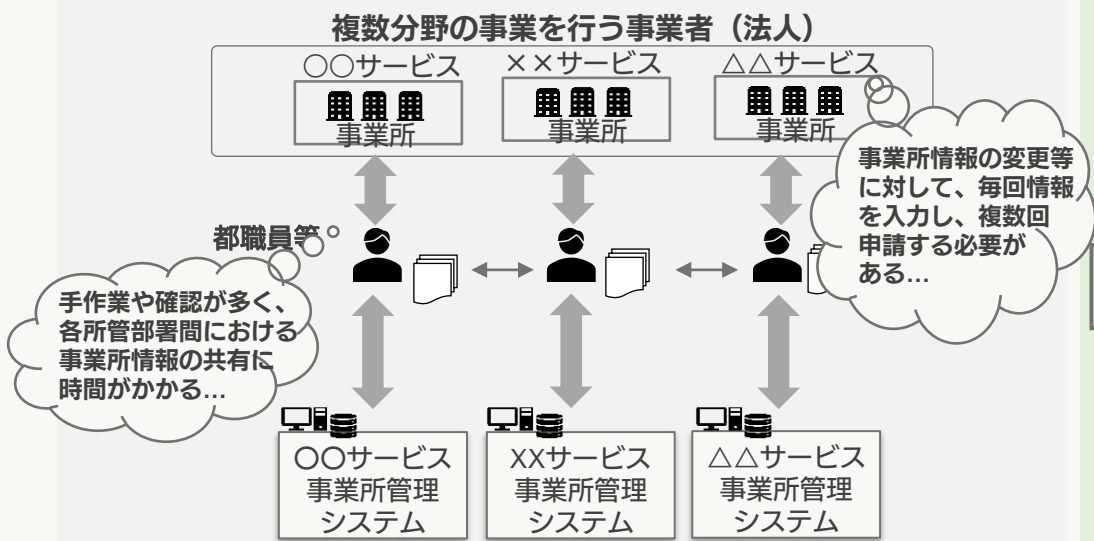
02 未来を創るデータ戦略

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 福祉・保健医療分野のデジタルプラットフォーム構築

- 福祉施設や医療機関等の事業所データを共有でき、職員が随時に必要な情報へアクセスできる連携基盤を構築するとともに、事業者が一度の申請で複数の申請先への手続きが可能となる仕組みや、一度入力した情報が再入力不要となる事業所ポータルを構築
- 情報連携基盤や事業所ポータルの構築により、都職員の業務を効率化するとともに、事業者の事務負担を軽減

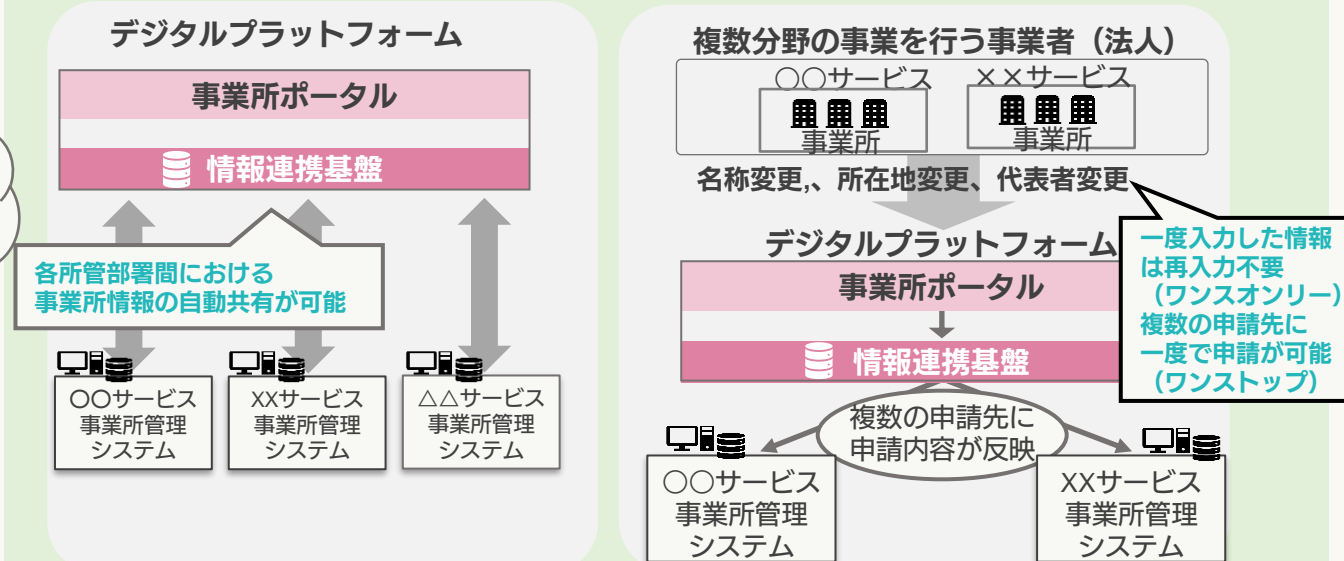
今までの姿



課題

- 各部署で利用しているシステムは、それぞれ独立したシステムであるため組織間の情報共有ができていない。
- 事業所は法人代表者の変更などの際、各所管部署に変更届を提出する必要があり手間がかかっている。

目指す姿



年度別スケジュール

2023年度

- 企画立案

2024年度

- 情報連携基盤構築

2025年度

- 連携対象システムの追加
- 機能拡張（事業所ポータル）を実施

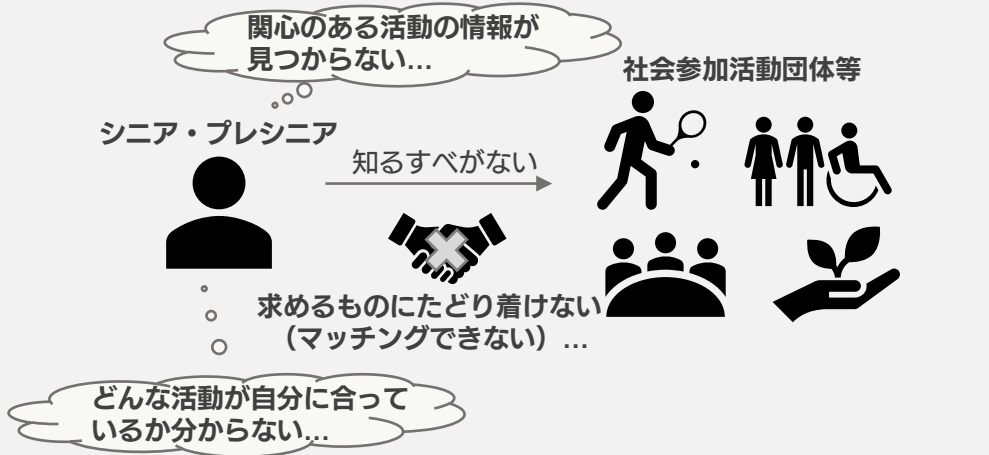
02 未来を創るデータ戦略

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 シニア・プレシニアと社会参加活動のマッチングのためのオンラインプラットフォーム構築

- 希望に応じた仕事や学び、趣味、地域活動ができるよう、都内全域の様々な社会参加活動の情報を一元的に集約したオンラインプラットフォームを構築
- 案件検索から申し込みまでの手続を円滑に行える環境を整備することで、シニア・プレシニアの継続的な社会参加を促進

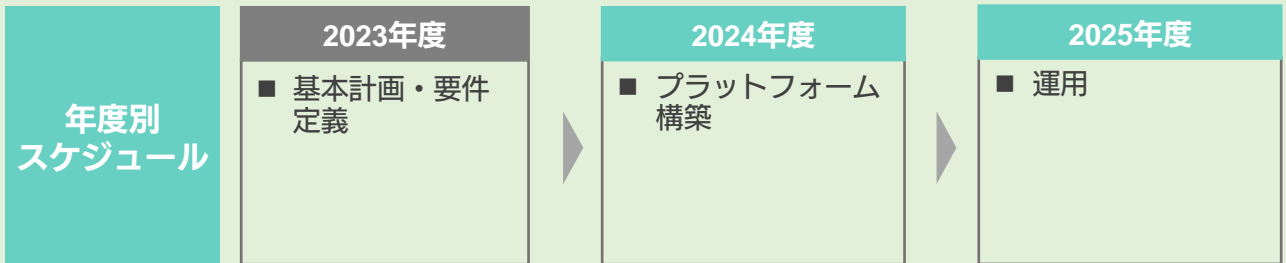
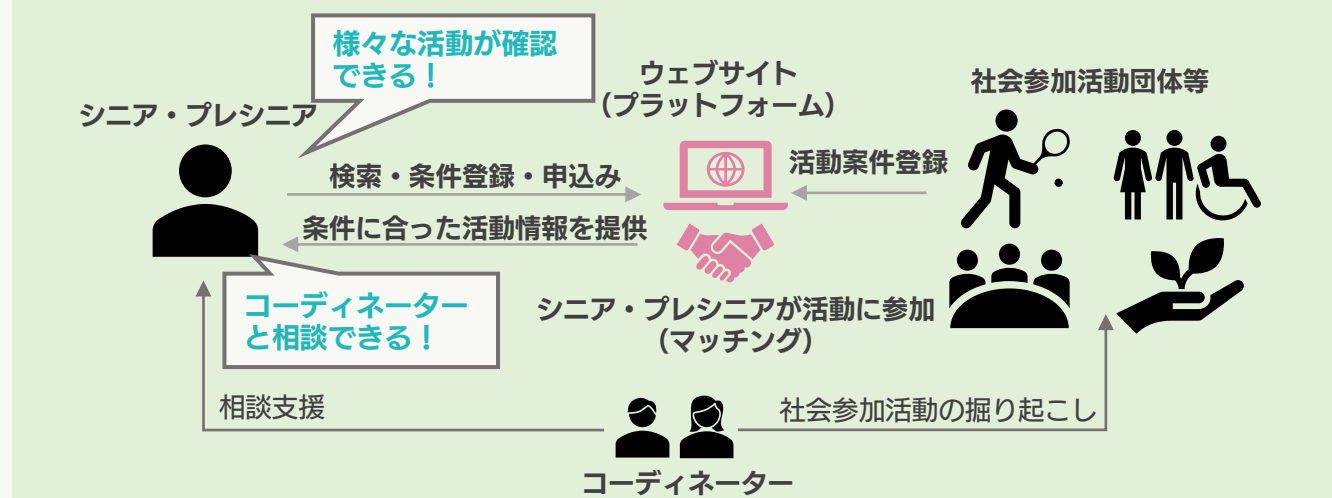
今までの姿



課題

- 高齢者がいつまでも元気で心豊かに自分らしく過ごすには、希望に応じて社会参加ができる環境整備が重要
- 一方で、今までの姿は「きっかけがない」「興味のある活動内容や活動情報がない」等の理由で、高齢者の社会参加の意欲が実際の活動に結び付いていない状況がある。

目指す姿



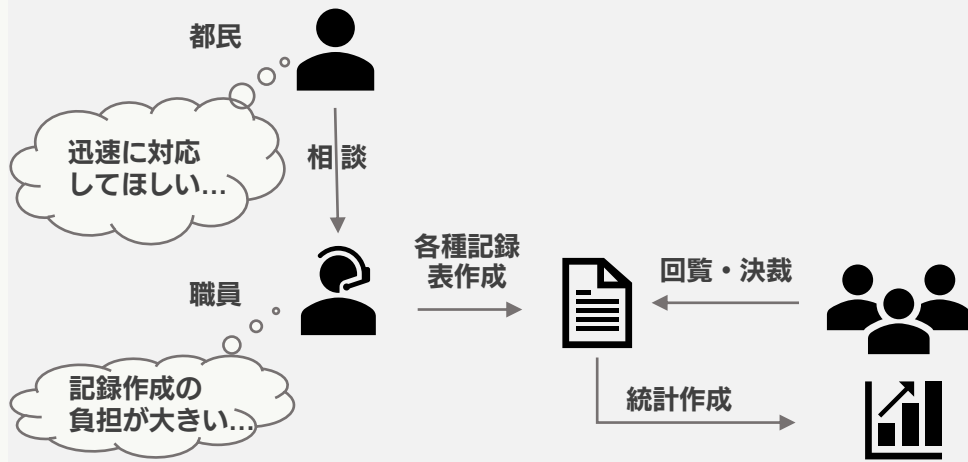
02 未来を創るデータ戦略

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 動物愛護相談センターの相談記録データベースの再構築

- 動物愛護相談センター多摩支所に寄せられる飼い主が飼育する動物に関する都民からの相談記録業務に関して、記録の入力から決裁、統計作成に至るまでの過程を一貫して行えるデータベースをノーコードで構築
- 相談記録データベースの構築により、記録作成の事務負担を軽減し、都民相談を受けての具体的対応に注力

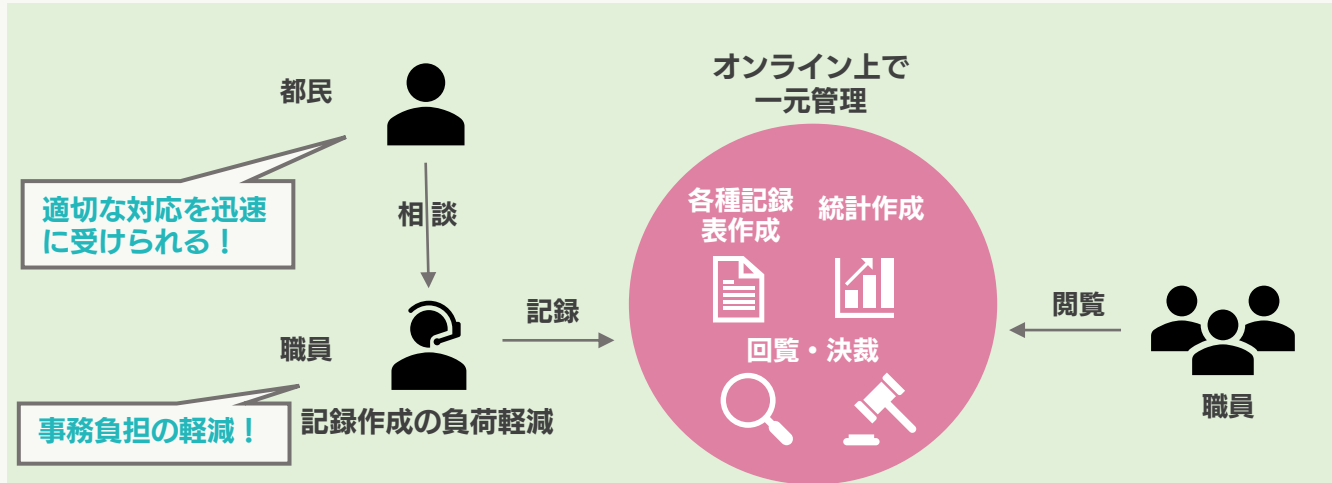
今までの姿



課題

- 東京都動物愛護相談センター多摩支所における一般飼い主が飼育する動物に関する都民からの相談対応に関して、受付・記録・対応・回覧・決裁・統計作成等は全て紙ベースで行われており、これらの一連の作業に時間がかかる。

目指す姿



年度別スケジュール

2023年度

- データベースの構築、PoC

2024年度

- データベースの運用

2025年度

- データベースの運用

03 福祉・医療のプロフェッショナルを応援

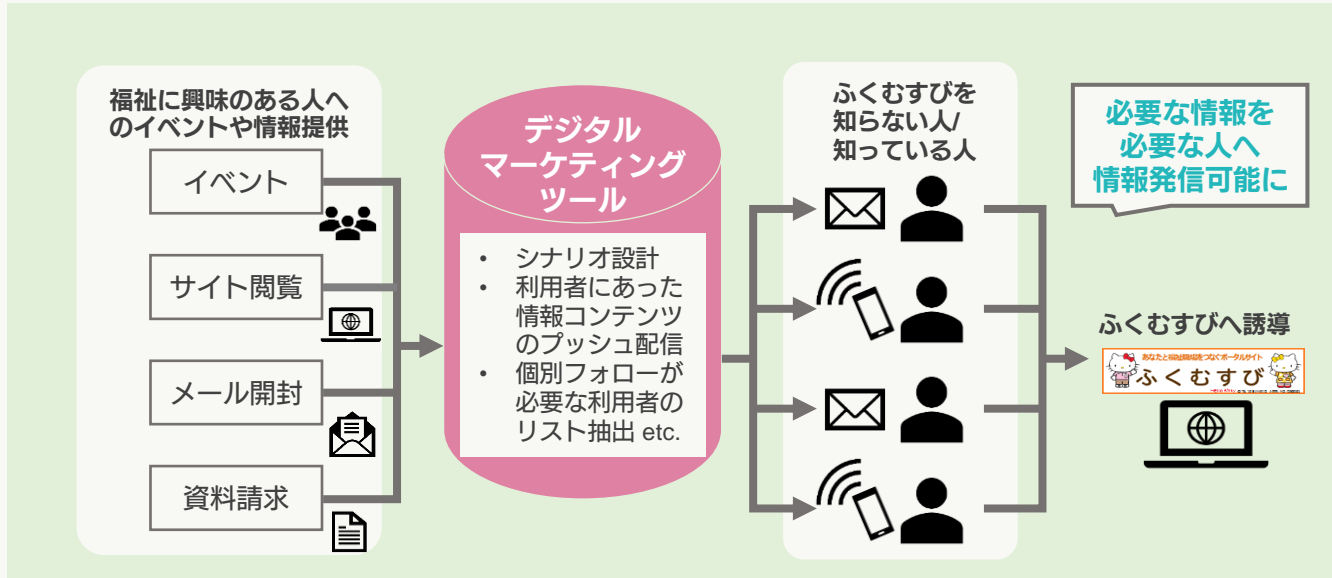
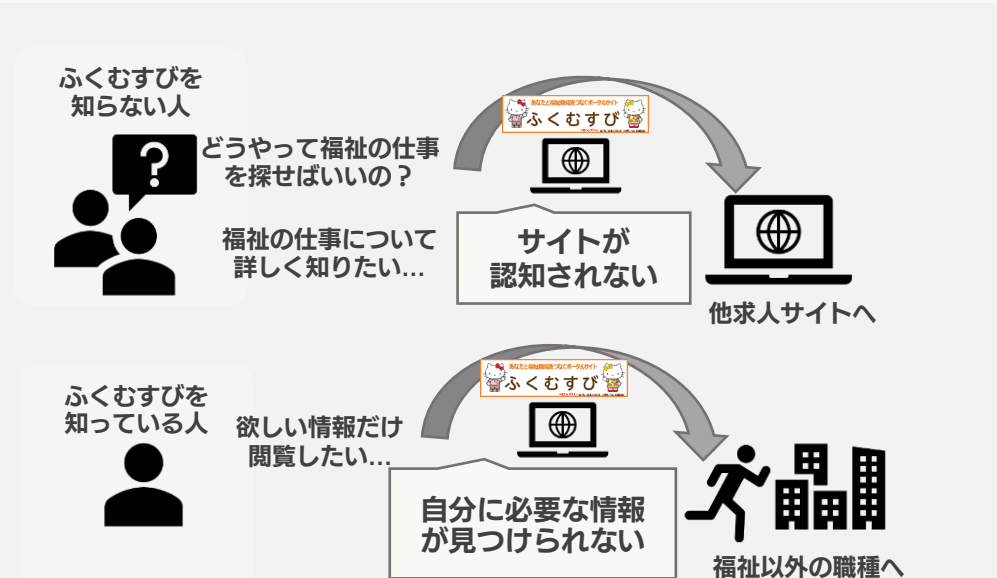
生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 福祉人材確保のためのマーケティングツールの導入

- デジタルマーケティングツール等を活用し、福祉人材情報バンクシステム「ふくむすび」に福祉に関心のある学生・社会人等を誘導し、効率的かつ効果的な情報提供を実施
- 各対象者に適した情報・コンテンツを提供することで、新たな福祉人材の掘り起こしを進め、福祉人材の確保を実現

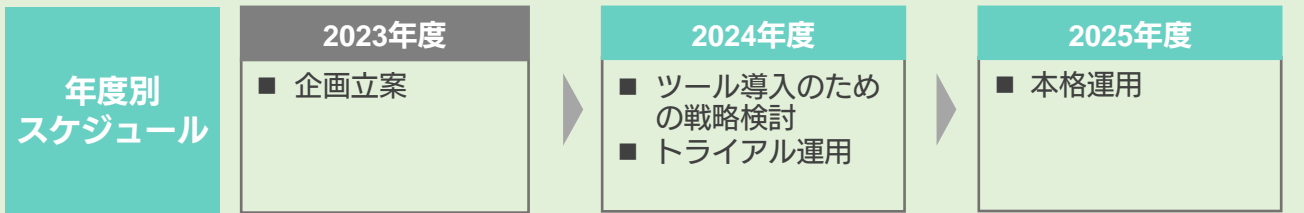
今までの姿

目指す姿



課題

- 「ふくむすび」の登録者数が少なく、潜在求職者を含む将来の福祉人材に対する有効なアプローチができていない。



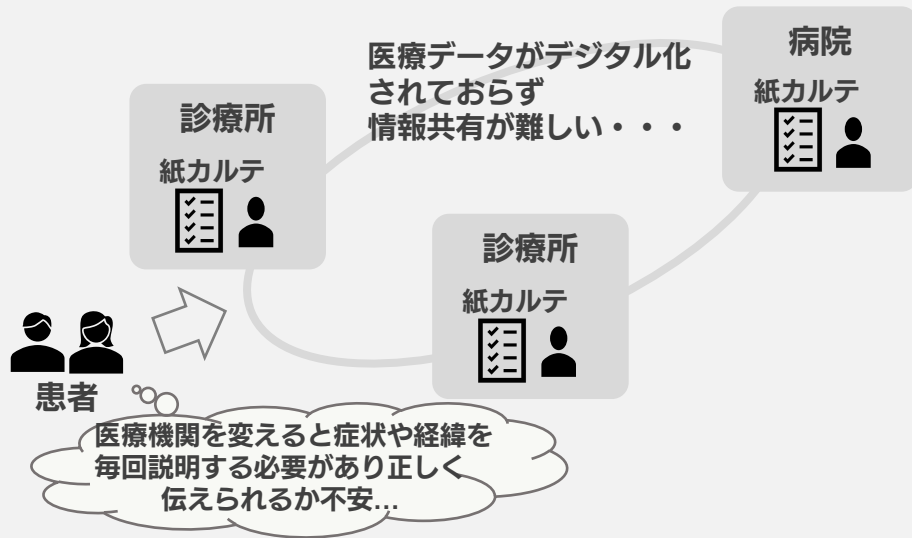
03 福祉・医療のプロフェッショナルを応援

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 中小病院・有床診療所への電子カルテ導入支援

- 電子カルテ導入による200床未満の病院・有床診療所での診療情報のデジタル化をノウハウを含めて総合的に支援
- 電子カルテ導入促進により、新たな新興感染症や災害発生への備えとして、病院間に限らず、診療所も含む医療機関間で、平時から診療情報の共有が可能となるとともに、国が構築する全国医療情報プラットフォームで電子カルテ情報を共有するための基盤を整備

今までの姿

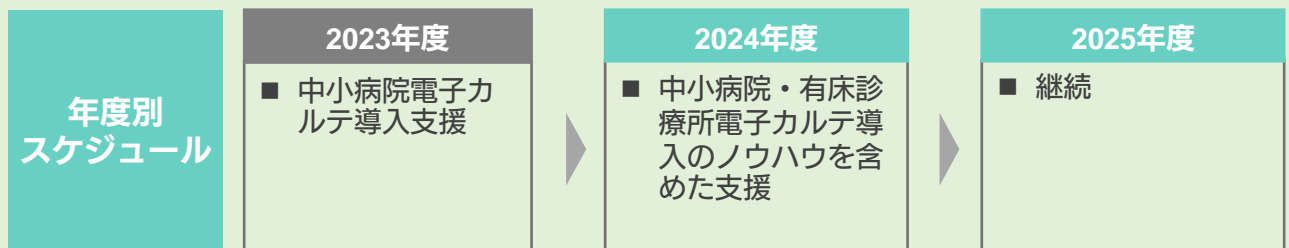
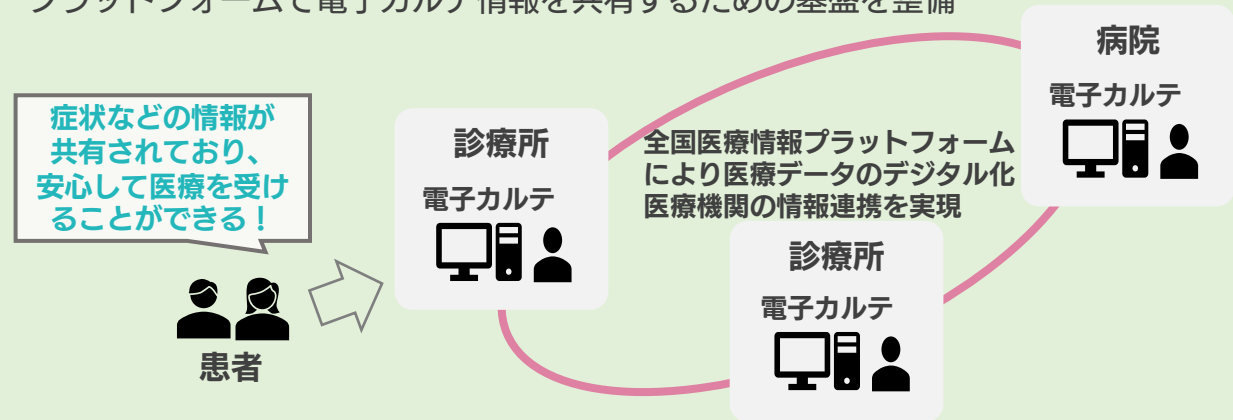


課題

- 診療所における電子カルテ導入率は、病院と比べて低い
- 中小病院における電子カルテ導入の障壁となっているノウハウ不足等への対策が急務

目指す姿

- 電子カルテ導入による各医療機関のデジタル化を支援することで、全国医療情報プラットフォームで電子カルテ情報を共有するための基盤を整備



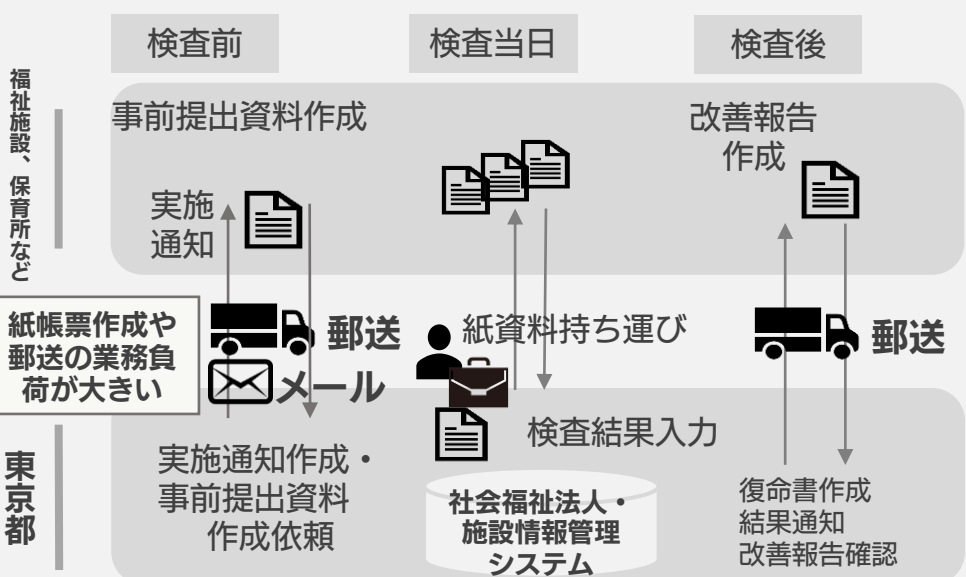
04 スマートなシステムで業務を変革

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 社会福祉施設等の指導検査DX

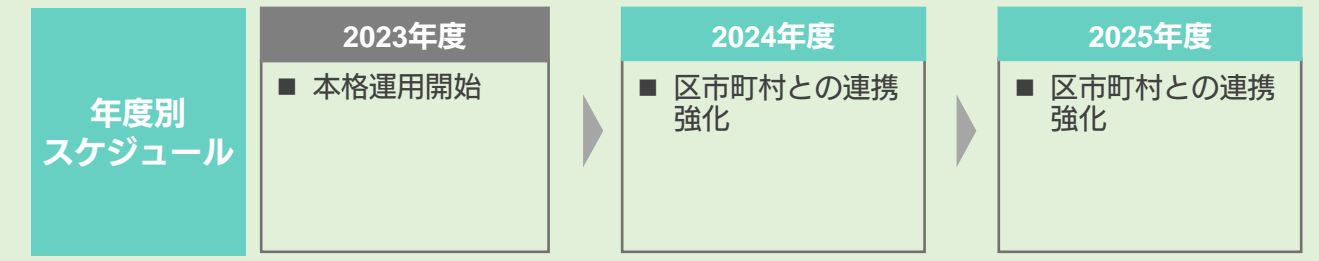
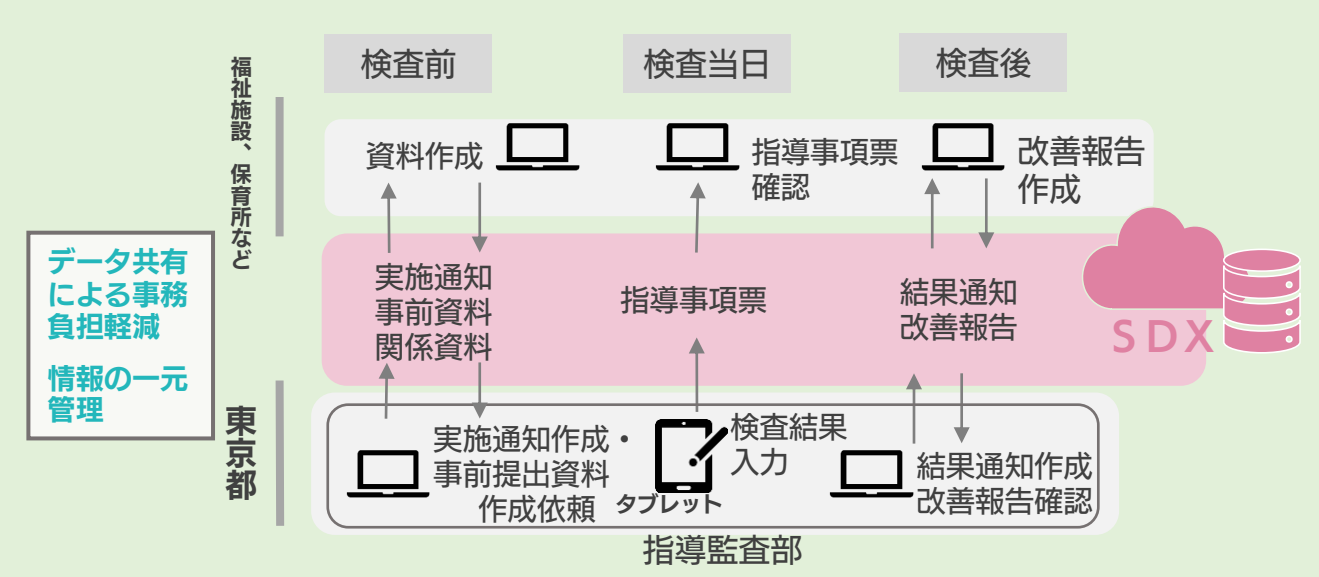
- 指導検査における対面・書面による業務プロセスの見直しに必要なデジタル環境の整備を推進し、事業者及び行政双方の業務負担の軽減と利便性の向上を図る

今までの姿



- 課題**
- 事業者・行政双方で紙媒体の書類が多いことによる業務負担が大きい。
 - データ活用、情報の一元管理が十分でない。
 - 対面や書面による従来型の業務スタイルである。
 - 約120サービス、47,000事業者に対する指導検査システムの構築が必要

目指す姿



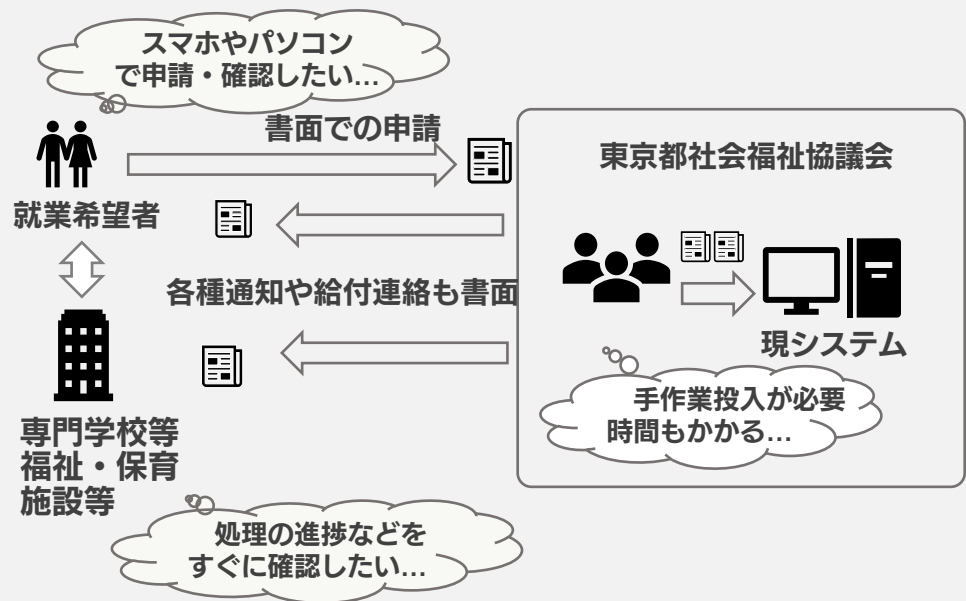
04 スマートなシステムで業務を変革

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 福祉分野における修学資金申請・審査システムの構築

- 都民の方々からの修学資金に関わる各種申請について、これまでの書面のみでの申請から電子申請を可能とするシステムを整備
- 給付の申請、確認等の修学資金に係る手続をデジタル化し、効率化するとともに、貸付等に係る基本的情報をオンラインで確認できるようにすることで、貸与者の利便性を向上するほか、「ふくむすび」との連携による都の福祉人材確保施策にかかる情報発信力を強化

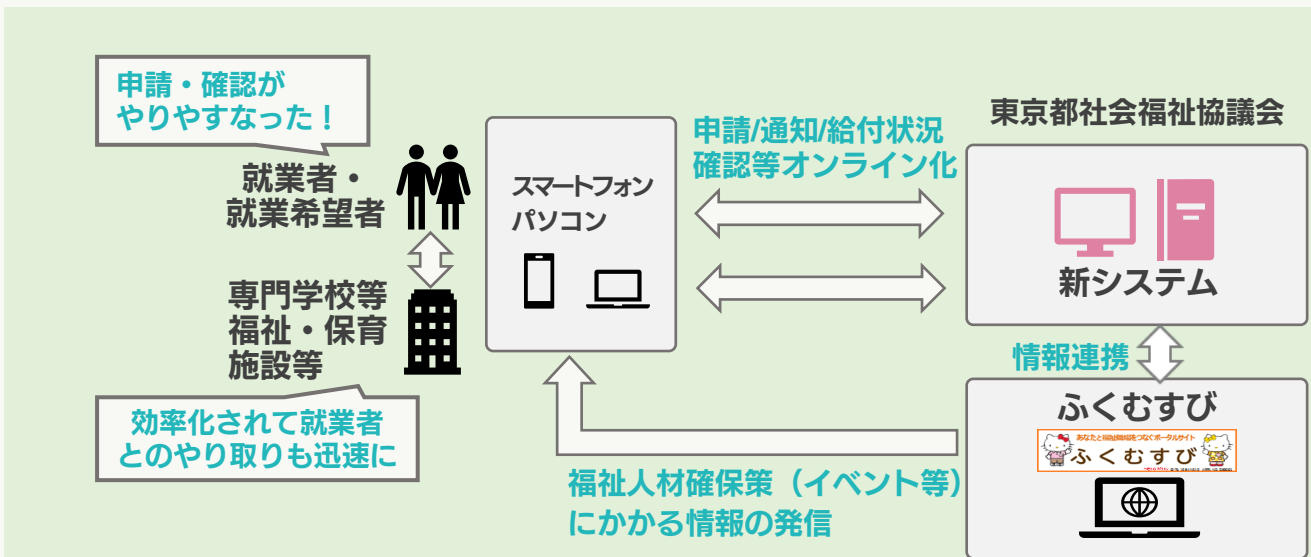
今までの姿



課題

- 修学資金等貸付業務において、業務のほとんどが紙処理で煩雑になっている。
- 貸与者が申請内容等を確認するのに手間がかかっている。

目指す姿



年度別スケジュール

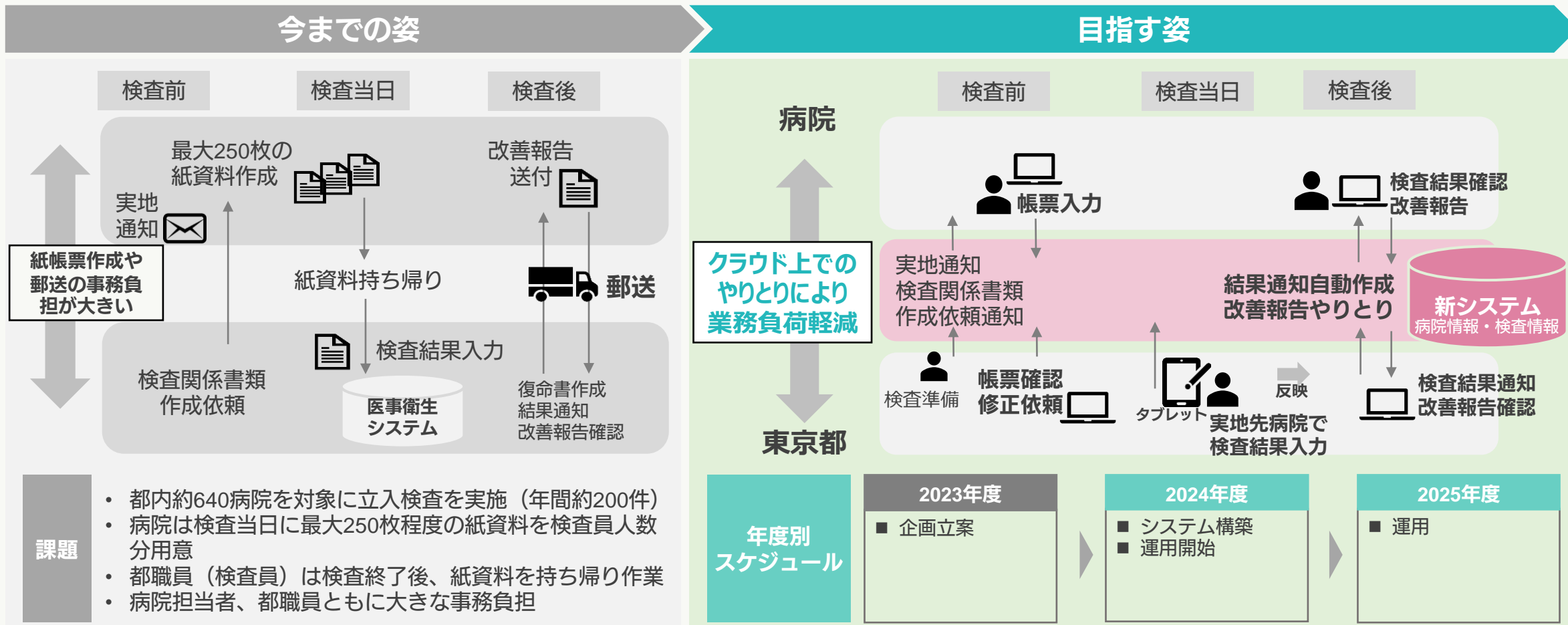
2023年度	2024年度	2025年度
■ 企画立案	■ 新システムの要件定義、設計	■ 新システム開発・運用

04 スマートなシステムで業務を変革

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 医療法等に基づく立入検査DX

- 立入検査時に必要な紙書類のペーパーレス化を行い、病院情報・検査情報をクラウド上で管理できるシステムを構築（準備書類のデータ提出、帳票の自動チェック機能、検査時のタブレット入力、実施通知・復命書・結果通知の自動作成機能 等）
- 一連の立入検査業務のデジタル化により、病院担当者及び都職員の事務負担を軽減し、効果的な検査に注力



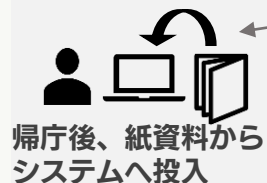
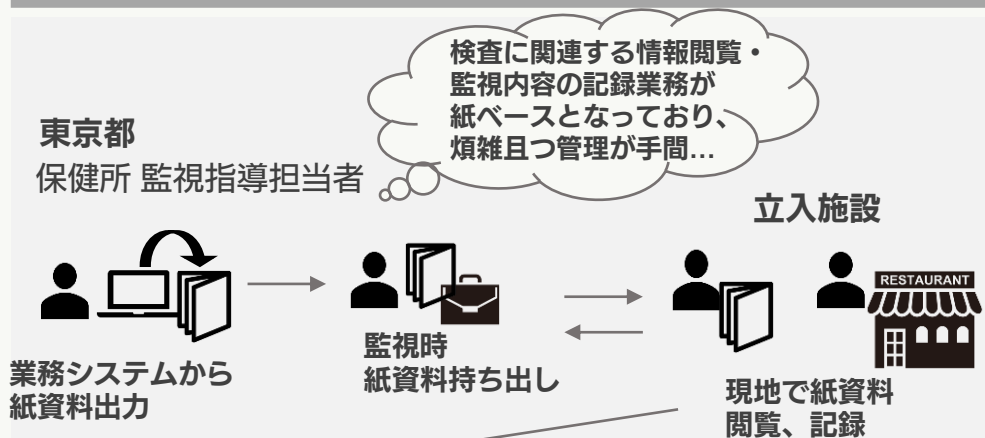
04 スマートなシステムで業務を変革

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 食品衛生監視指導におけるDX

- 食品衛生監視指導の立入指導や聞き取り調査時に、必要なデータをタブレットにより現場で入力できるようシステム構築
- タブレットからデータ参照、食品営業施設への立入指導時における現場での指導情報の入力により、職員の事務負担を軽減し、効果的な監視指導に注力

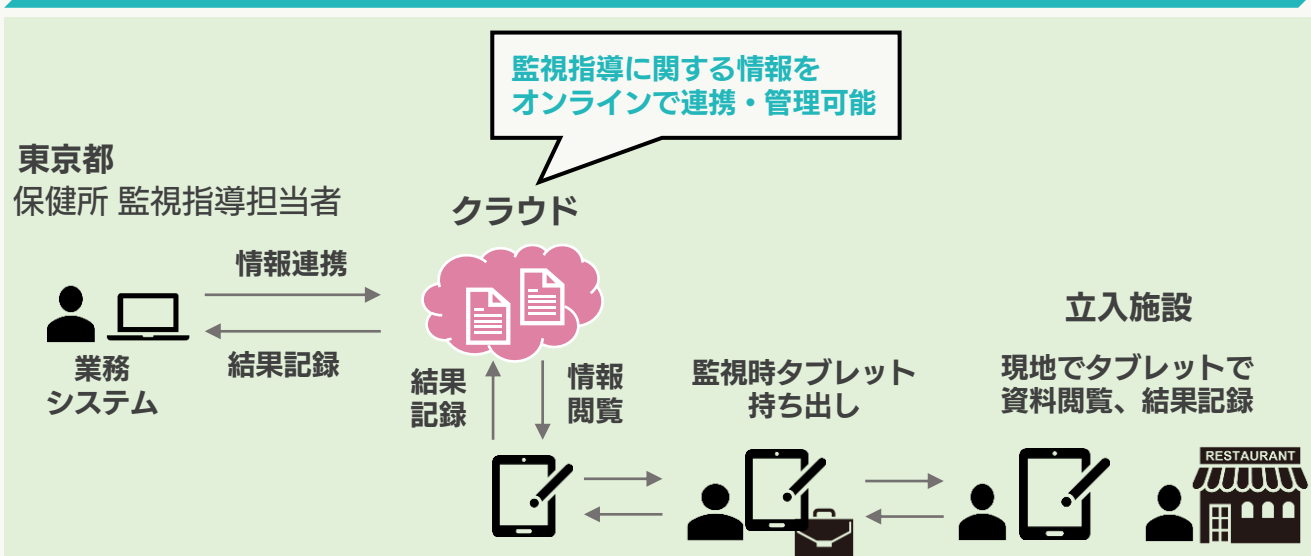
今までの姿



課題

- 都職員は、立入指導や聞き取り調査時に使用する紙書類を全て持参する必要がある。
- 監視指導結果を立入時にシステムへ入力できないことから、紙書類を持ち帰り作業

目指す姿

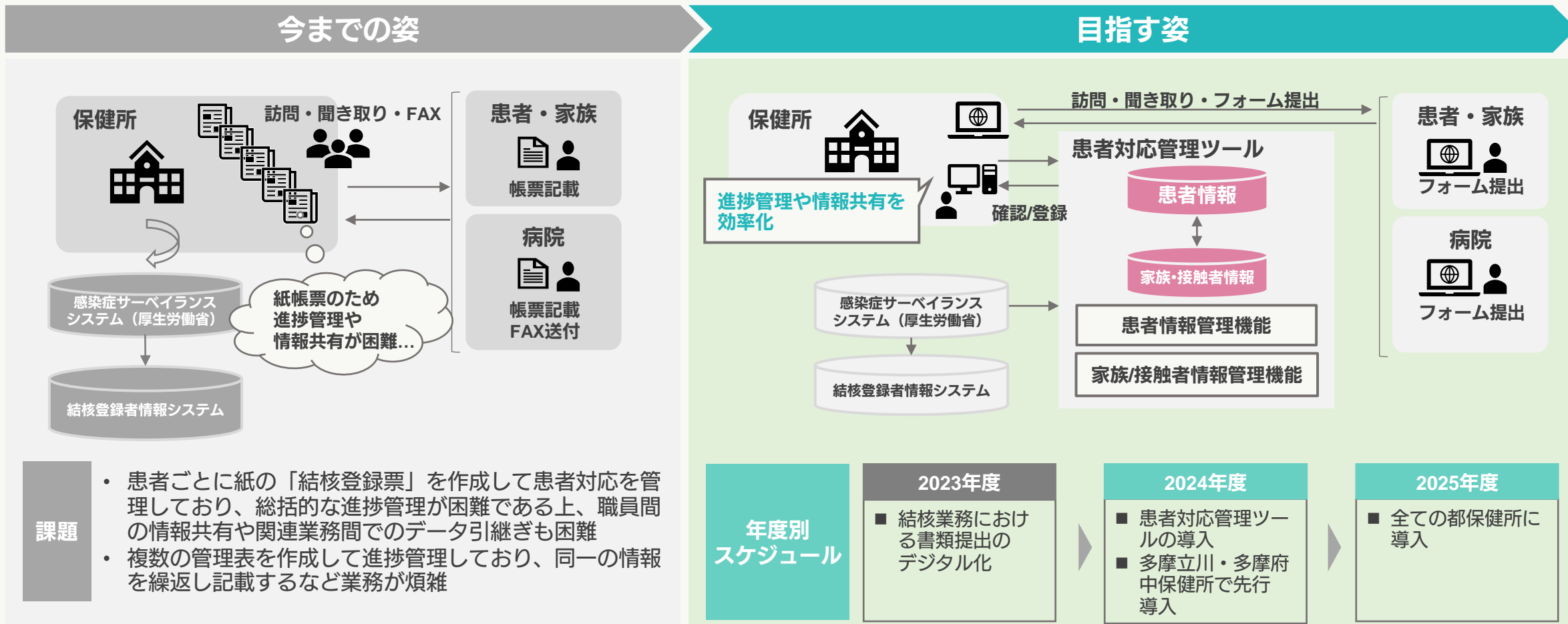


04 スマートなシステムで業務を変革

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 結核業務における患者対応管理ツールの導入

- 患者毎に紙で作成している「結核登録票」をデータ化し、患者・接触者対応の管理ツールを導入
- 患者・接触者の対応情報をデジタル化することにより、進捗の見える化や情報検索の容易化などを実現し、職員の患者対応のスケジュール管理や職員間の情報共有が効率化され、患者・接触者への対応に注力



05 デジタルの力を使って誰もが幸せに暮らせる社会の実現

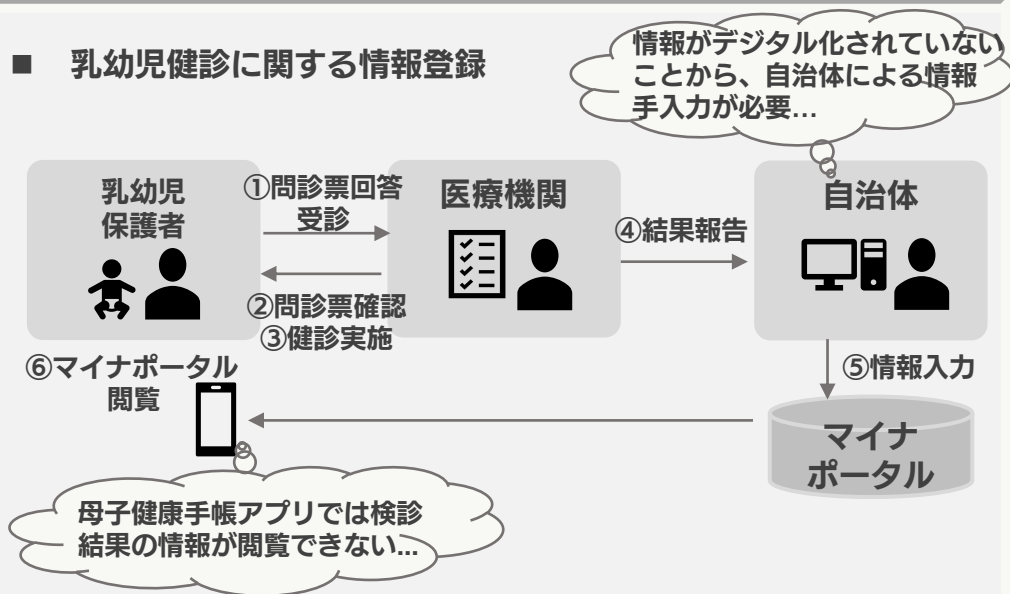
生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 母子保健情報デジタル化

- 母子保健情報のデジタル化に向けた実証事業や自治体独自の母子健康手帳アプリとマイナポータル連携等のデジタル化を行う区市町村を支援し、母子保健分野におけるDXを推進
- デジタル化により、都民の利便性の向上及び実施主体である区市町村の事務負担を軽減

今までの姿

乳幼児健診に関する情報登録

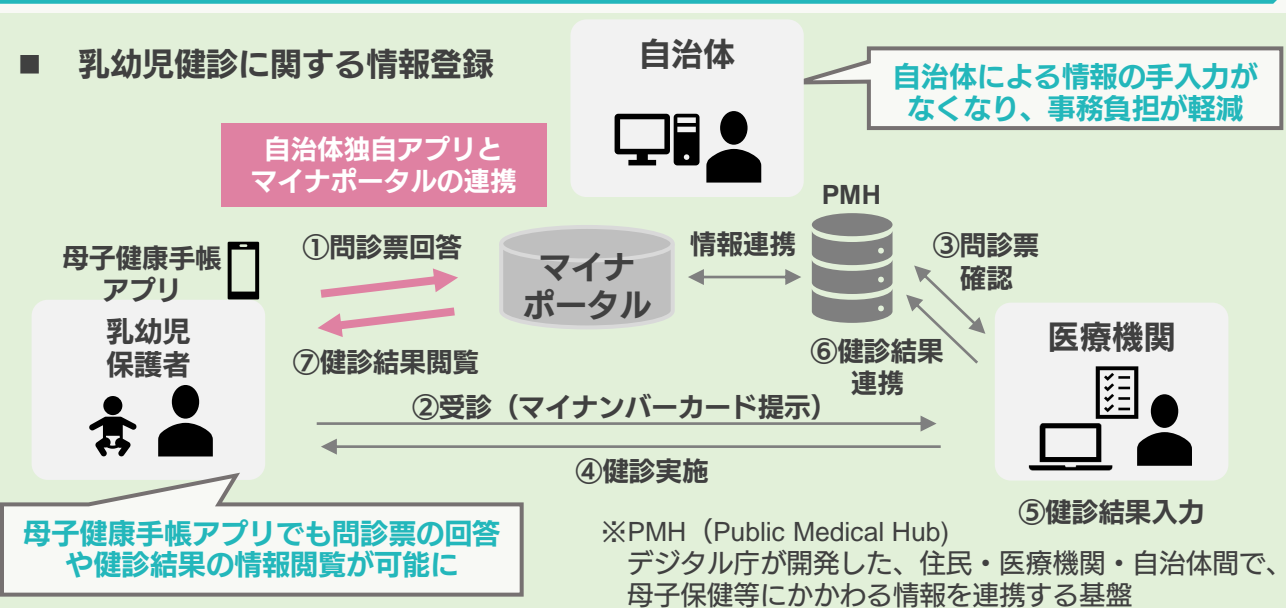


課題

- 各種健診結果について、医療機関から提出された情報を各区市町村で手入力しており、事務負担が大きい。
- 各種健診結果を自治体独自の母子健康手帳アプリで直接閲覧できない。

目指す姿

乳幼児健診に関する情報登録



年度別スケジュール

2023年度	2024年度	2025年度
<ul style="list-style-type: none"> 区市町村への支援を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 国や都の動きに合わせて、区市町村のデジタル化を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 国や都の動きに合わせて、区市町村のデジタル化を支援

05 デジタルの力を使って誰もが幸せに暮らせる社会の実現

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 TOKYO WALKING MAPの再構築

- 都民の日常的な身体活動量（歩数）を増やし、健康づくりを支援するためのポータルサイト「TOKYO WALKING MAP」について、ウォーキングコースの検索性向上、区市町村によるコンテンツの追加・更新の機能を追加
- サイトの再構築により継続的な利用を促すことで、都民の主体的な健康づくりの支援を促進、生活習慣病や生活機能低下の予防を推進

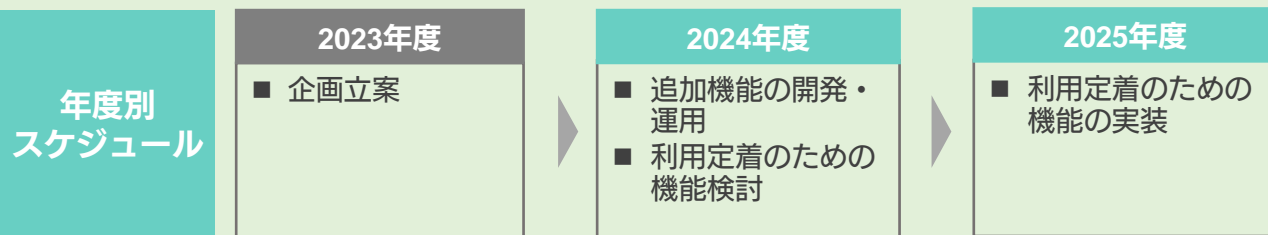
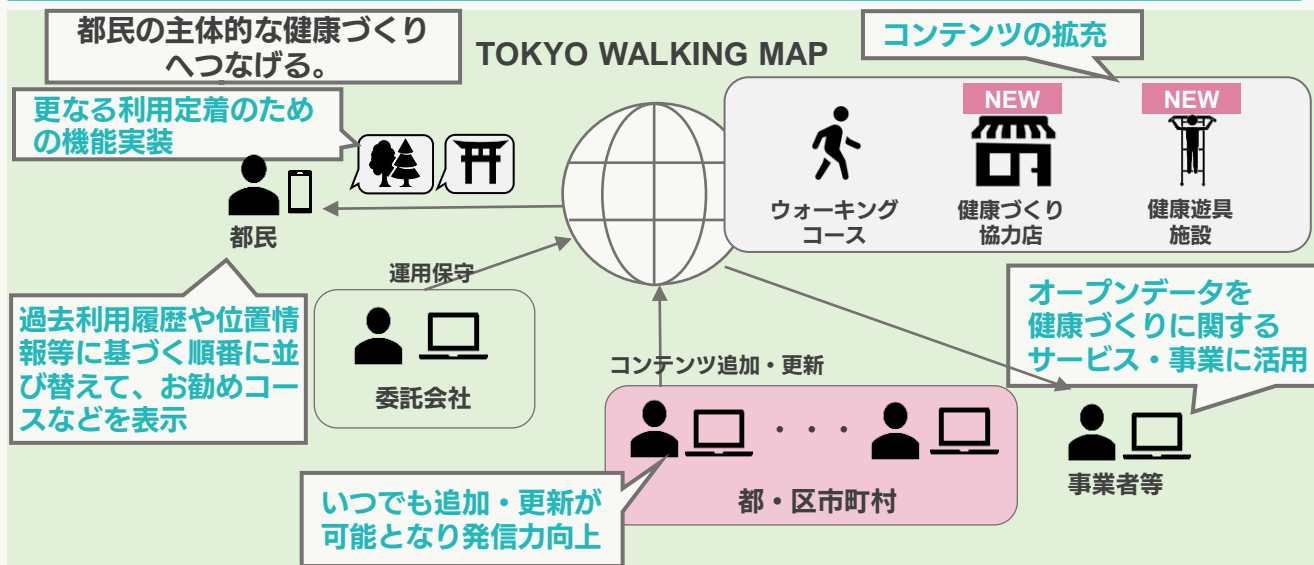
今までの姿



課題

- 掲載コース数に比して検索機能が乏しく、利用者が自身に最適なウォーキングコースに辿りつくまでに時間を要し、アクセシビリティが低い。
- コンテンツの追加・更新を事業者を経由して行うため、都・区市町村で即時にサイトの更新ができない。

目指す姿



06 最先端テクノロジーによる福祉・保健医療分野の業務改革

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 女性相談支援センターの電話相談業務等のDX

- 女性相談支援センターに電話相談支援システムを導入するとともに、困難な問題を抱える女性の保護情報を管理する既存システムを再構築の上、区市町村等の関係団体とのシステム連携を実現
- 女性相談支援センターのDXを推進し業務効率化・関係組織とのシステム連携を図ることで、困難な問題を抱える女性への支援を強化

今までの姿

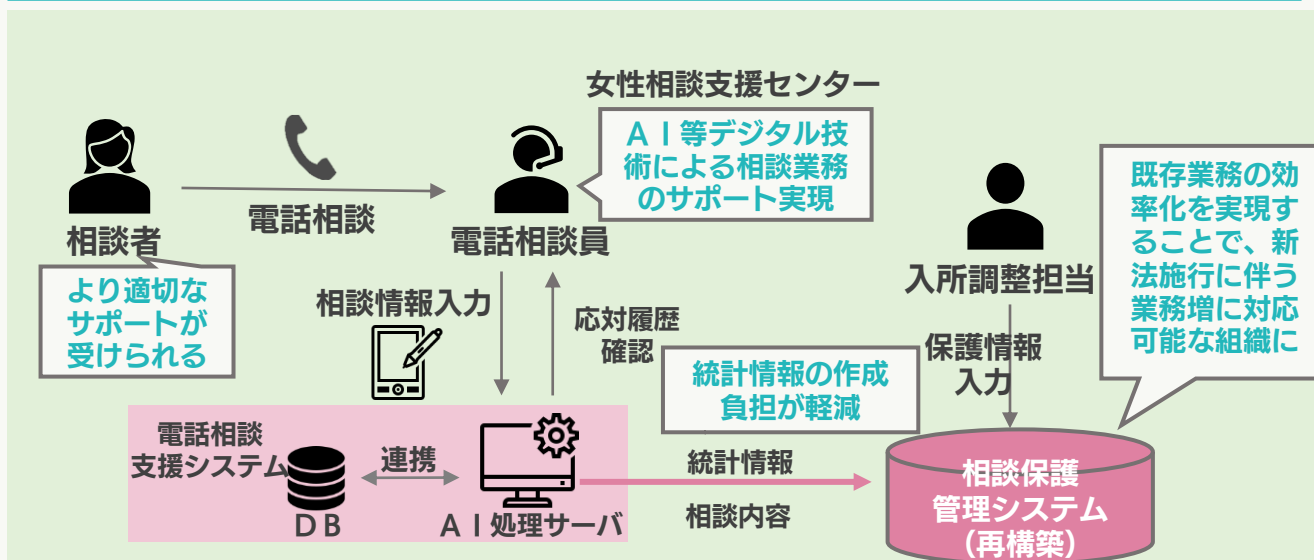


※2023年度までの名称は「女性相談センター」

課題

- 現在の電話相談業務がシステム化していないため、手作業で統計処理を行うなど、事務負担が大きい。
- 困難な問題を抱える女性に対する個別支援計画の策定などにおいて、膨大なデータを十分に活用できていない。

目指す姿



年度別スケジュール

2023年度

- 企画立案

2024年度

- 電話相談支援システム構築
- 相談保護管理システムの再構築アセスメント

2025年度

- 相談保護管理システムの再構築
- 区市町村等との連携強化

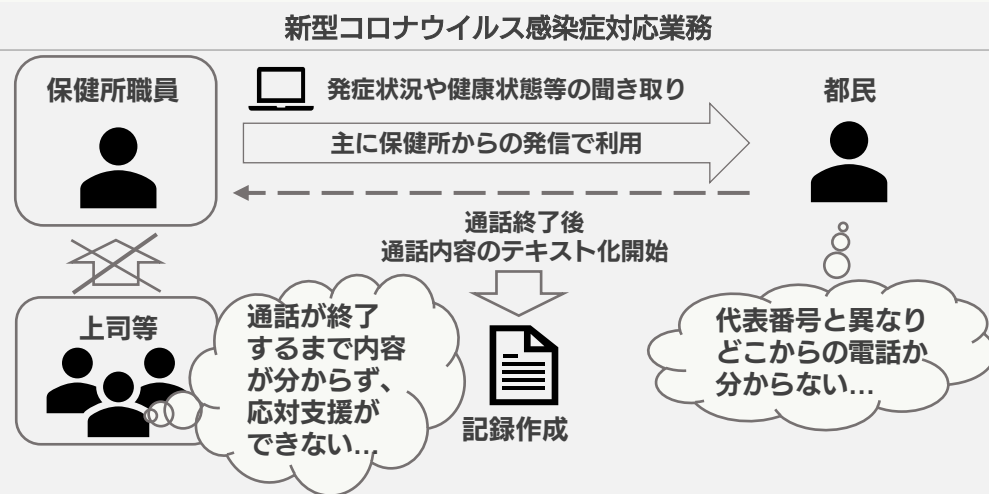
06 最先端テクノロジーによる福祉・保健 医療分野の業務改革

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

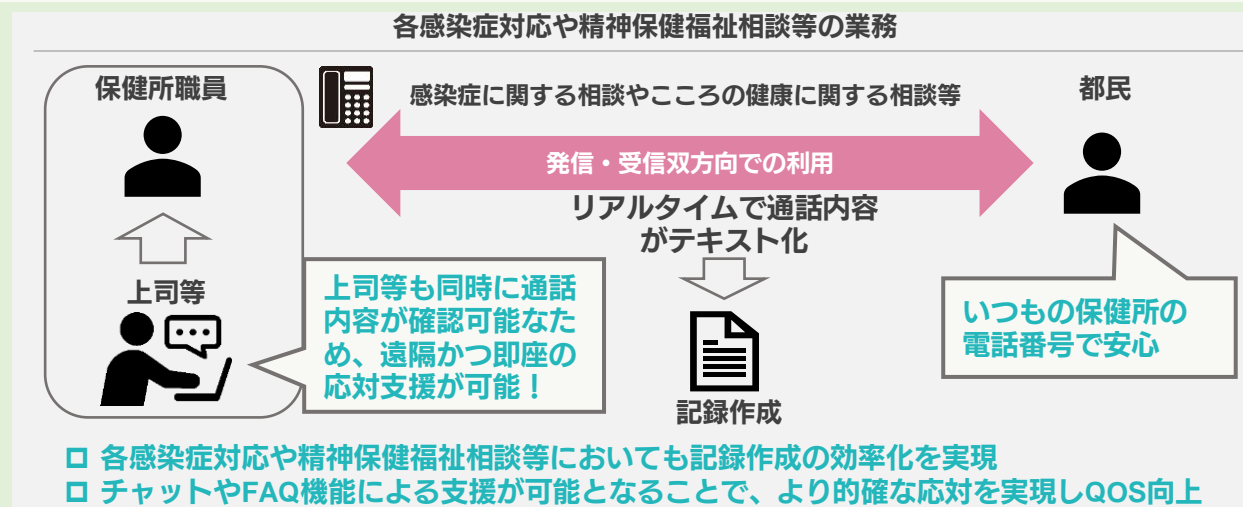
事業名 保健所の音声マイニングシステムのアップグレード

- 新型コロナウイルス感染症対応業務で活用した音声マイニングシステムを、通話内容のリアルタイムテキスト化や電話対応フォロー機能等を備えたシステムへアップグレードしたうえで、他の感染症対応業務や精神保健福祉相談等の業務へ横展開
- システムのアップグレードにより、記録作成の事務負担を軽減するとともに、迅速な対応支援を実現

今までの姿



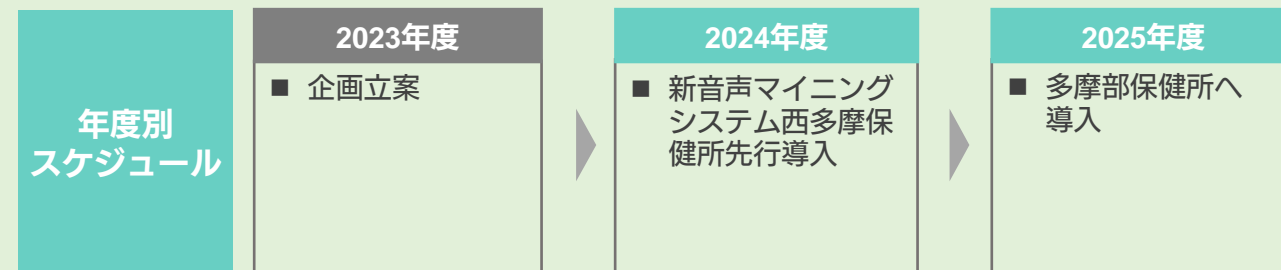
目指す姿



課題

- 精神保健福祉相談などの他の保健所業務においても記録の作成・整理に時間を要しており効率化が必要
- 現在活用している音声マイニングシステムは通話終了後にテキスト化が行われるため、リアルタイムでの通話内容の共有・フォローが困難
- 現在活用している音声マイニングシステムは、パソコンで通話を行うシステムであり、保健所の代表電話と異なる番号を使用しているため、応答率が低い。

年度別スケジュール



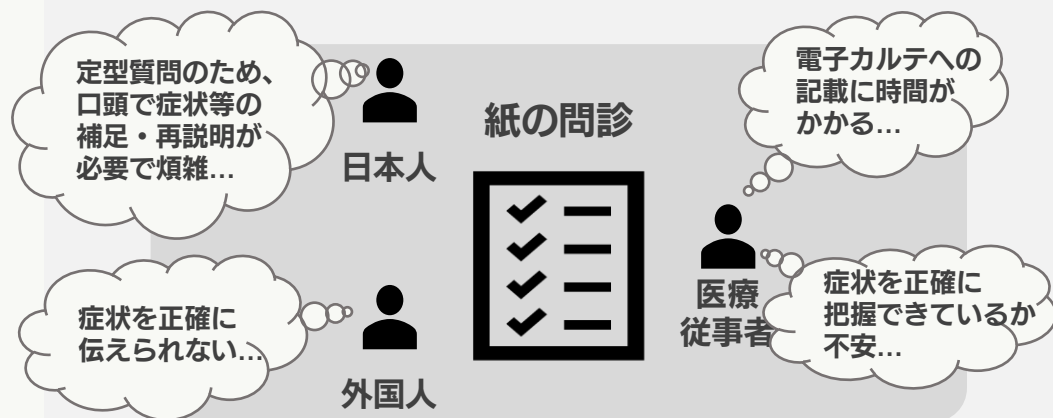
06 最先端テクノロジーによる福祉・保健 医療分野の業務改革

生活福祉	高齢者	保健	健康安全
子供・子育て	障害者	医療	感染症対策
共通			

事業名 都立病院における多言語版AI問診システムの導入

- 患者の受診手続きにおける多言語に対応したAI問診システムを導入
- システム導入により、患者の利便性向上や外国人が安心して医療を受けられる環境を整備するとともに、医療従事者の業務負担を軽減

今までの姿

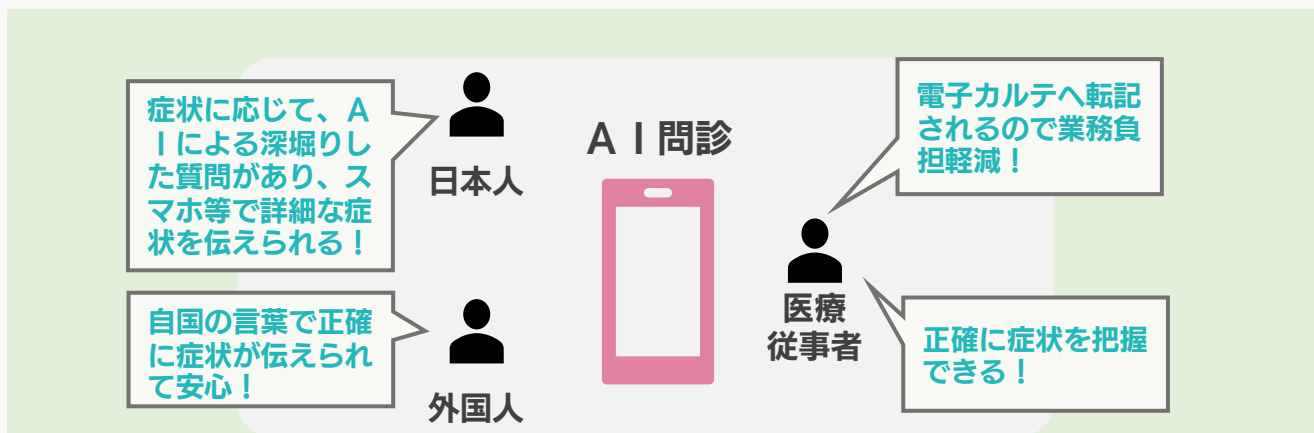


課題

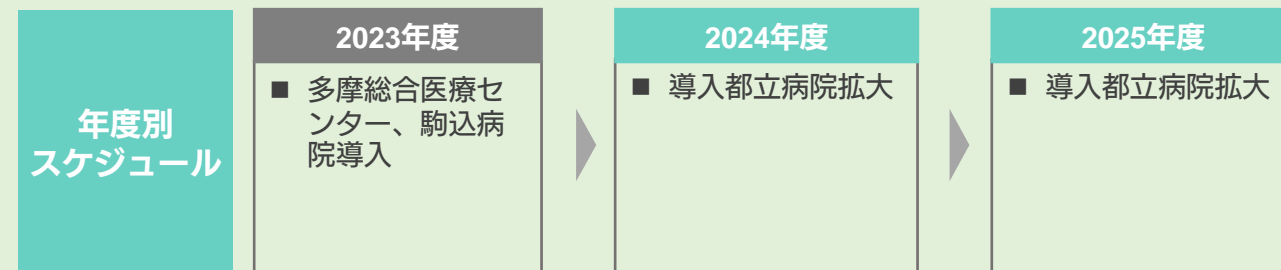
- クリニックではスマートフォンやインターネットを活用した予約、問診等が普及しつつあり、都立病院においても受診手続きのDXを推進する必要がある。
- 働き方改革に対応するため医療従事者の業務効率化が急務
- 都における外国人人口は2023年には53.1万人まで増加しているなか、在住外国人が医療を受けるにあたって、「受付でうまく話せなかった（42.5%）」※などの声が多い。

※東京iCDCリスコミチームによる 都内在住外国人アンケート調査（2023年6月実施）

目指す姿



年度別スケジュール



5 今後の取組

(1) 局事務事業

- ① 重点事業
- ② 局事業

(2) 都政の構造改革

②局事業

6 施策分類において、福祉分野47取組、保健医療分野29取組の計76取組を展開

施策分類	福祉分野 取組数	保健医療分野 取組数	合計
01 「行かない」「書かない」「迷わない」福祉・保健医療サービスの提供 ～申請・手続・サービスのデジタル化（オンライン・ワンストップ・キャッシュレス）～	12	9	21
02 未来を創るデータ戦略 ～データ利活用、オープンデータ等の推進～	5	2	7
03 福祉・医療のプロフェッショナルを応援 ～人材確保・育成支援～	8	6	14
04 スマートなシステムで業務を変革 ～デジタル時代の業務システム～	4	7	11
05 デジタルの力を使って誰もが幸せに暮らせる社会の実現 ～業務のデジタル化（クラウド、ノーコード・ローコード、API）～	13	3	16
06 最先端テクノロジーによる福祉・保健医療分野の業務改革 ～AI・ロボット・IoT、デジタルツインの活用～	5	2	7
合計	47	29	76

01 「行かない」「書かない」「迷わない」福祉・保健医療サービスの提供

申請・手続・サービスのデジタル化

■ オンライン・ワンストップ・キャッシュレス化

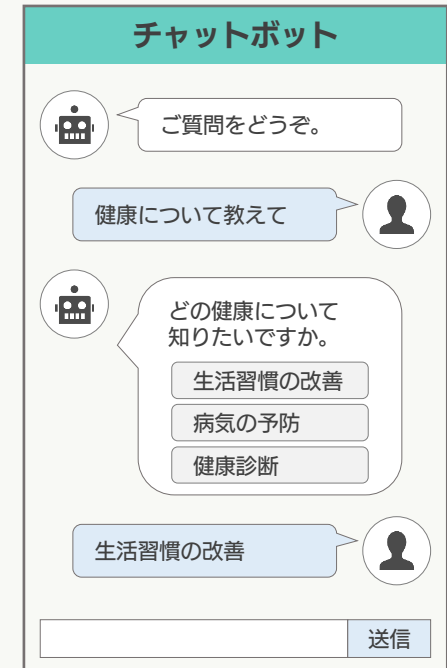
- ・ 従来の窓口業務を都民、事業者目線で利便性を向上させることで、デジタルに不慣れな方もその恩恵を受けられる、「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を目指します。
- ・ 従来型の対面・紙申請から、非対面のオンライン申請へのシフトを進めるとともに、対面でも「書かない窓口」を進めます。
- ・ 一度の申請により複数の申請先に申請内容が反映されるなど手続のワンストップ化を進めます。
- ・ 手数料のキャッシュレス化を進めます。

■ 人的資源は更なるサービス向上へシフト

- ・ 各種行政手続のオンライン化により、手続を「データ」で対応することで、業務の効率化（入力業務削減等）を進めます。
- ・ 業務改善により生まれた人的資源を、より手を差し伸べるべき方への更なるきめ細やかなサポートにシフトします。

■ 福祉・保健医療の特性を踏まえたICT技術の導入

- ・ 都民が、「どこでも」「いつでも」「気軽に」相談できるよう、チャットボットやLINE等の活用を積極的に進めます。



01 「行かない」「書かない」「迷わない」福祉・保健医療サービスの提供

子供・子育て

「とうきょう子育てスイッチ」のポータルサイト、アプリによる子育て支援情報発信

目的別、区市町村別、子供の年齢別等で知りたいことに合わせ簡明に分類され、検索可能なサイト・アプリ「とうきょう子育てスイッチ」で、多種多様な都民の子育て環境に合わせた情報を提供する。

	2023年度	2024年度	2025年度
ポータルサイト	運用		

子供・子育て

チャットボットによる「妊娠したかも相談@東京」の実施

都内にお住まいの方を対象に、「妊娠したかも？」という悩みや疑問に、チャットボット形式で回答する。

	2023年度	2024年度	2025年度
チャットボット	運用		

子供・子育て

動画配信による「プレコンセプションケア」の普及啓発

プレコンセプションケアに興味・関心を持ち取り組むきっかけとなるよう、ターゲット層の高頻度での利用が見込まれるSNSを活用した配信等により、効率的な普及啓発を目指す。

	2023年度	2024年度	2025年度
SNS活用	構築	運用	

子供・子育て

わかさぼYouTube等による広報動画

中高生等の性に関することを含む思春期特有の健康上の悩みについて、相談窓口を運営し、YouTube等による広報動画を配信し、普及啓発を実施する。

	2023年度	2024年度	2025年度
広報動画	作成	運用	

01 「行かない」「書かない」「迷わない」福祉・保健医療サービスの提供

子供・子育て

子育て支援員研修のオンライン化

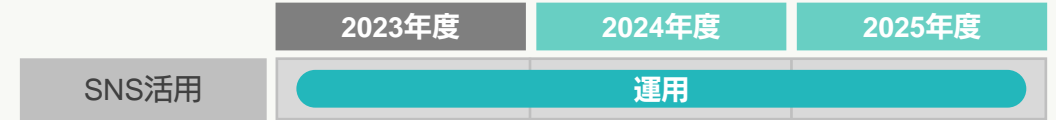
子育て支援員研修の一部のコースについて、オンライン研修を実施しており、2024年度からオンデマンド型研修と集合型研修により実施し、研修の質の向上と受講者の利便性の向上を図る。



子供・子育て

LINEによる児童虐待防止相談

児童虐待を防止するため、LINEを活用し、児童本人及びその保護者がより相談等にアクセスしやすい環境を提供する。



子供・子育て

LINEによるひとり親家庭の相談（ひとり親家庭支援センター「はあとライン」）

ひとり親のさまざまな悩みを対面や電話だけではなく、気軽に相談できるLINE相談を実施する。



障害者

スマホ等による来庁の聴覚障害者への遠隔手話サービス

遠隔手話等のデジタル技術を活用し、都の施設における聴覚障害者の情報保障を推進する。



01 「行かない」「書かない」「迷わない」福祉・保健医療サービスの提供

障害者

LINE、SMSによる精神障害者福祉手帳更新期限の通知

精神障害者福祉手帳の更新期限前に希望者に対してLINE及びSMSによる通知を実施し、申請忘れを防止する。

	2023年度	2024年度	2025年度
LINE	構築	運用	
SMS		構築	運用

障害者

集会室の利用受付業務のデジタル化

紙で行っている集会室（東京都障害者福祉会館）の利用申請及び予約状況の管理業務をデジタル化することにより、利用者の利便性向上と業務効率化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
障害者福祉会館	業務分析	企画立案	システム構築

障害者

社会生活評価プログラム等の電子申請

高次脳機能障害者のための社会生活評価プログラム等への電子申請を可能にすることにより、支援機関等の利便性の向上と受付手続の効率化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
心身障害者福祉センター	構築	運用	

障害者

就労支援講習会のWEB申込み

現在メール又はFAXで受け付けている就労支援講習会の申込みをWEB申請可能にすることにより、利用者の利便性向上と業務の効率化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
心身障害者福祉センター多摩支所	構築	運用	

01 「行かない」「書かない」「迷わない」福祉・保健医療サービスの提供

保健

SNSによる自殺相談

LINEを活用した自殺相談窓口を設け、主に若年層が抱える悩みに対応するとともに、必要に応じて各種相談機関による支援につなげることで、若年者が抱える問題の早期解決を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
SNS活用		運用	

保健

チャットボットによる受動喫煙対策問合せ対応

受動喫煙防止対策に関する都民や事業者の問い合わせに24時間365日対応可能なチャットボットをホームページ上に設置し、都民の問い合わせへの利便性向上を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
チャットボット		運用	

保健

国家資格等情報連携・活用システムによる栄養士免許申請手続

栄養士免許について、申請手続をオンライン化するとともに、住民基本台帳システム等との情報連携により添付書類を省略化することで、申請者の手続の利便性向上を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
オンライン化		構築	運用

医療

医療法人関連申請手続のデジタル化

医療法人台帳システムのオンライン化を進め、法人による医療法に関する申請手続や都民の閲覧等の利便性向上、簡素化及び効率化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
システム		構築	運用

01 「行かない」「書かない」「迷わない」福祉・保健医療サービスの提供

医療

都立看護専門学校インターネット出願受付システム（WEB出願/授業料徴収）の構築

都立看護専門学校において、インターネットによる出願受付・授業料納付のシステムを構築し、受験生等の負担を軽減する。

	2023年度	2024年度	2025年度
WEB出願システム	構築	運用	
授業料徴収システム		構築	運用

医療

看護師等修学資金貸与事務システムの構築

システムの再構築により、修学生のマイページ登録や申請・手続のデジタル化を進め、修学生の利便性向上と職員の業務効率化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
システム		要件定義	構築

健康安全

薬局、医薬品販売業等の届出等のオンライン化

都保健所、都健康安全研究センターにおける薬局、医薬品販売業等の届出等について、LoGoフォームによる電子届出の受付を開始し、事業者の利便性向上を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
オンライン化	構築	運用	

健康安全

食物アレルギー緊急時対応デジタルガイドンスの構築

「緊急時対応ガイドンス」をデジタルで作成し、施設関係者等に対して直感的で分かりやすいアナフィラキシー発生時の初期対応のサポートを提供し、患者への迅速かつ適切な対応を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
デジタルガイドンス		構築	運用

01 「行かない」「書かない」「迷わない」福祉・保健医療サービスの提供

感染症対策

性感染症検査WEB予約システムの構築

性感染症の感染拡大抑制を目指し、都が所管する検査室・保健所において、検査予約のデジタル化（WEB予約システムの構築）により、検査を受ける都民の手続の負担を軽減する。

	2023年度	2024年度	2025年度
システム	企画立案	構築	運用

02 未来を創るデータ戦略

データ利活用、オープンデータ等の推進

■ 行政におけるデータの利活用

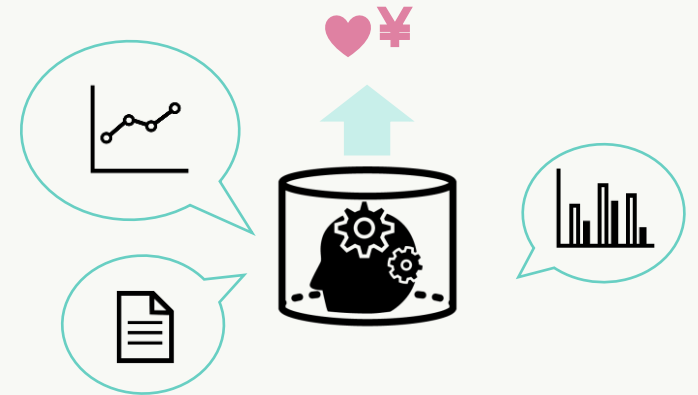
- 近年、多くの情報がデジタル化され、データで管理されています。
- データが価値創造の源泉であることの認識が広まっており、シン・トセイ4においても、官民が保有する様々なデータの利活用を推進しています。
- データを連携・集約して活用することで、新たな企画立案、より質の高い行政サービスを提供します。

■ 官民のデータの相互活用へ

- 福祉局・保健医療局のデータのオープンデータ化を促進し、福祉・保健医療分野における事業者の新たなサービスの創出を後押しします。

■ プッシュ型サービス

- 都民が必要な情報を確実に入手できるよう、プッシュ型サービスを進めます。



02 未来を創るデータ戦略

生活福祉

軍歴・恩給システムの再構築

戦没者氏名等の検索により申請前に資料の有無を確認できるようにするとともに、申請から交付までの手続をオンライン化することで、都民の利便性向上を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
システム		要件定義	構築

子供・子育て

児童相談所情報管理システムの再構築

児童相談所情報管理システムについて、児童相談所の業務負担軽減、相談・判定業務の平準化、ペーパーレス化等を実現できるよう、再構築を行う。

	2023年度	2024年度	2025年度
システム		要件定義	構築

子供・子育て

入所児童情報管理システムの構築

児童自立支援施設において入所児童に関する情報を一元管理するシステムを構築し、職員の支援業務の効率化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
児童自立支援施設		業務分析・PoC	要件定義

高齢者

ビッグデータを活用した認知症予防研究

東京都健康長寿医療センターが有する臨床・研究に係るビッグデータの活用や、AI等の最先端技術を駆使し、認知症予防に関する画期的な研究・開発を支援する。

	2023年度	2024年度	2025年度
認知症予防研究		研究・開発	社会実装

02 未来を創るデータ戦略

障害者

自立支援医療（精神通院医療）受給者証発行業務におけるレセプト情報のデジタル化

自立支援医療レセプト業務において発生する、データ取込・保管、レセプト管理・点検、検索・分析管理、自動返付対応、各種チェック機能をクラウドサービスを用いることでデジタル化し、業務の効率化を図る。



医療

東京総合医療ネットワーク構築支援

電子カルテシステムやオーダリングシステムなどを利用して、医療機関同士が円滑に情報共有を行うためのデジタル技術を活用した医療連携ネットワーク構築を支援し、医療の質向上を図る。



保健

がん検診実施機関の精度管理システムの構築

都民の適切ながん検診の推進に向けて、検診機関の精度管理評価に必要な指標を把握・フィードバックするための共有システムを構築し、検診機関全体の質の向上につなげる。



03 福祉・医療のプロフェッショナルを応援

人材確保・育成支援

■ 福祉・医療人材の確保に向けたテクノロジー導入とデジタル人材の育成支援

- ・ 少子高齢化による労働力人口の減少等により、人材の確保が厳しさを増すなか、都民ニーズに丁寧かつきめ細かく対応していくためには、福祉や医療現場のDXの取組は急務です。
- ・ 併せて、福祉・医療の現場では、DX導入による効果を十分に発揮するためのデジタル人材の育成も必要不可欠です。

■ 人材不足を補うテクノロジー

- ・ 福祉や医療現場における支援の質の向上に資するデジタル技術の普及を推進します。
- ・ 労働力不足の解消や働き方改革に資するテクノロジーの導入を積極的に支援するとともに、現場のデジタル人材の育成に向けた取組も進めます。

■ 福祉・医療分野での取組

- ・ 都は福祉人材と福祉職場をつなぐポータルサイト「ふくむすび」の利用を促進し人材確保につなげるため、新「ふくむすび」の構築やマーケティングツールの活用に向けた取組を進めています。
- ・ 「求職サイトへの応募が来ない」「求職者とうまくマッチングできない」といった人材の確保の課題を解消するためのテクノロジーを活用した取組を進めます。



東京都福祉人材情報
バンクシステム
「ふくむすび」

03 福祉・医療のプロフェッショナルを応援

生活福祉

東京都福祉人材情報バンクシステム「ふくむすび」の再構築

東京都福祉人材情報バンクシステム「ふくむすび」の登録・利用促進に向けて、マッチング機能やコミュニケーション機能の実装及び検索性の向上に向けたサイトの再構築を実施する。

	2023年度	2024年度	2025年度
新サイト	構築	運用	

生活福祉

東京都福祉人材センターにおける求職相談等のオンライン化

東京都福祉人材センターにおける就労支援強化の一環として、キャリアカウンセリングや求職相談等のオンライン化を行う。

	2023年度	2024年度	2025年度
オンライン化	構築	運用	

子供・子育て

保育所等におけるデジタル化支援

保育士の業務負担の軽減及び保護者にとって必要な情報等を把握しやすくするため、システムの新規導入費用の一部補助やICT専門人材による保育業務支援システムの導入支援、業務改善推進支援、意識改革支援の業務委託費用の一部補助を実施する。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助	費用補助	費用補助	

高齢者

介護施設内におけるDX人材育成支援

DXをはじめとする生産性向上の取組を推進するリーダー職員を配置し、リーダー職員の育成や手当の支給を行う介護事業者を支援することで、事業者が生産性向上に継続的に取り組む体制を確保する。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助		費用補助	

03 福祉・医療のプロフェッショナルを応援

障害者

東京都障害者IT地域支援センターの運営

障害者と家族及び障害者のデジタル技術利用支援を担当する職員等からの、デジタル技術に関する各種相談を受け付ける。また、区市町村の職員やデジタル技術活用支援ボランティア等を対象に、デジタル機器の使い方やコミュニケーション方法の取得を目指した講習等を開催する。

	2023年度	2024年度	2025年度
センター運営		IT地域支援センター運営	

障害者

療育施設への電子カルテシステムの導入

現在手書きで作成している医療・療育の記録を電子化することで、施設内の情報共有や業務効率化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
城南・城北	要件定義	システム構築	運用
東部	要件定義	システム構築	運用
東大和・北・府中		要件定義	システム構築

障害者

障害者支援施設等におけるデジタル化支援

障害福祉分野における業務の生産性及び支援の質の向上に向けた取組を促進するため、障害者支援施設等におけるデジタル技術等の導入を支援する。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助		費用補助	*

※予算編成過程において検討

障害者

障害福祉サービス等DX推進人材育成支援

DXをはじめとする生産性向上の取組を推進するリーダー職員を配置し、リーダー職員の育成や手当の支給を行う事業者を支援することで、障害福祉サービス等事業者が生産性向上に継続的に取り組む体制を確保する。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助		費用補助	

03 福祉・医療のプロフェッショナルを応援

医療

島しょにおける医療関係者間コミュニケーションツールの導入

島しょ救急患者搬送において、医療情報共有ツールの活用による島しょ医療機関と本土医療機関との円滑な情報共有を可能にし、ヘリコプター等による島しょからの救急患者搬送体制を強化する。

	2023年度	2024年度	2025年度
コミュニケーションツール		運用	

医療

東京都多職種連携ポータルサイトの運用

円滑に患者情報にアクセスできるとともに退院予定患者の受入マッチングの機能をもつ東京都多職種連携ポータルサイトを運営し、医療・介護関係者間の広域的な連携の推進を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
ポータルサイト		運用	

医療

都内医療機関のサイバーセキュリティ対策支援

医療機関（病院）のサイバーセキュリティ対策の強化に係る費用（リモートゲートウェイ装置、バックアップサーバ等）を支援し、安定的な医療提供体制の確保につなげる。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助		費用補助	

医療

脳卒中急性期医療機関間又はCCUネットワーク参画医療機関間における情報共有ツールの導入支援

東京都脳卒中急性期医療機関又はCCUネットワーク参画医療機関を対象に、医療情報共有ツールの導入を支援し、脳卒中や急性大動脈疾患に対する専門的治療の実施を促進する。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助		費用補助	

03 福祉・医療のプロフェッショナルを応援

医療

医療機関への電子処方箋の普及促進

病院及び診療所に対し、電子処方箋及び電子処方箋の新たな機能の導入を支援することで、都民の利便性向上や質の高い医療サービスの提供、医療機関の事務負担の軽減を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助		費用補助	

※単年度事業の予定

健康安全

薬局への電子処方箋の普及促進

薬局に対し、電子処方箋及び電子処方箋の新たな機能の導入を支援し、電子処方箋の普及促進をすることで、質の高い医療サービスの提供、重複投薬等の抑制、薬局の業務効率化を推進する。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助		費用補助	

※単年度事業の予定

04 スマートなシステムで業務を変革

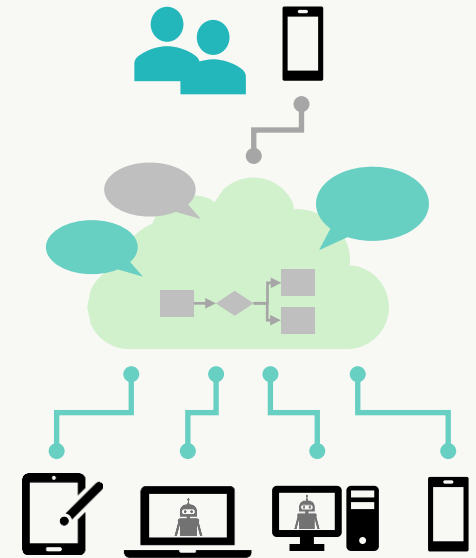
デジタル時代の業務システム

■ システム再構築による業務の効率化

- 福祉局・保健医療局では、多くの分野でシステムを導入し、業務を効率化しています。
- 新型コロナ対応においては、保健所業務のひっ迫に対応するため、いち早く保健所に患者対応を一元的に管理するツールを導入するなど、業務効率化を進めてきました。
- 一方で、既存のシステムでは、効率化が十分とはいえない業務もあります。
- RPAを用いたデータ連携など、より一層の業務の効率化に向けて、システムの再構築を進めます。

■ 新システム構築に向けて

- 新たなシステム構築に向けては、業務システムの最適化を図るため、事前にBPRなどを行います。
- 業務を可視化し分析した上で、業務効率化と併せて都民や事業者の利便性向上につながる仕組みを検討し、システムの構築を進めていきます。



04 スマートなシステムで業務を変革

生活福祉

医療費助成事務システムの再構築

都の多岐にわたる医療費助成制度の受給者情報管理、医療費の支払、支払情報管理及び医療費の高額療養費調整等を行うための業務システムの再構築を行い、業務の効率化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
システム	現状評価	要件定義	
	基本構想		

生活福祉

生活保護システムの再構築

西多摩福祉事務所及び島しょ部の各支庁が使用している生活保護システム等について、地方公共団体情報システムの標準化・共通化に対応し、ガバメントクラウドを活用したシステムへの移行を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
システム	機能選定等準備	企画立案	改修・移行

障害者

アウトリーチ支援事業における記録・実績入力システムの構築

モバイル端末を活用した記録・実績入力システムの構築をすることで、出張支援の訪問先で訪問記録・実績の入力を行い業務の効率化及び情報の共有化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
精神保健福祉センター	業務分析	企画立案	システム構築

障害者

精神保健福祉相談記録等のデジタル化

現在手書きで作成している精神保健福祉相談記録等をデジタル化することにより、統計の作成等業務の効率化及びセンター内での情報の共有化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
精神保健福祉センター	業務分析	企画立案	システム構築

04 スマートなシステムで業務を変革

医療

島しょ医療用画像電送システムによる診療支援

島しょ医療機関と都立広尾病院との間に画像電送システムを設置し、島しょ医療機関の診療活動等を支援することで、島しょ地域における医療水準の向上を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
システム	運用		
			システム更新

健康安全

麻薬免許管理システムの再構築

改正大麻取締法の施行に向け、既存の麻薬取扱者免許システムに、大麻取扱者等の申請入力・申請情報管理・免許証発行機能を追加するなどのシステム再構築を行い、業務の効率化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
システム改修		改修	運用

医療

物品管理及び検案業務のデジタル化

紙様式で行っている物品請求事務のデジタル化や検案業務の進捗状況・追加検案情報をオンラインで共有することにより、職員の業務の効率化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
監察医務院	業務分析	企画立案	システム構築

健康安全

市場衛生検査所衛生監視業務のDX

市場内の監視指導に導入しているノーコード／ローコードツールを用いたタブレットの活用について、流通調査、検査業務等に対象を拡大することで、衛生監視業務のさらなる効率化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
タブレット活用等		運用・改善	

04 スマートなシステムで業務を変革

健康安全

芝浦食肉衛生検査所主要業務のDX

監視業務における紙資料等の持出しを廃止し、立入調査時にタブレットを活用するとともに、案件の管理・運用にノーコードツール等を導入することにより、衛生監視業務や危機管理対応等の効率化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
タブレット活用等		運用・改善	

健康安全

薬事監視業務のDX

薬事監視業務における監視票や事業者提出資料等の持出しを廃止し、立入調査時にタブレット端末を用いて資料確認を行うとともに、案件の管理・運用を行うことで、監視業務の効率化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
タブレット活用等	構築	運用・機能拡充	

健康安全

動物取扱業に対する監視業務のDX

動物愛護相談センターにおける動物取扱業に対する監視業務において、タブレット等の活用により、効率的・効果的な監視・指導、記録の管理を行う。

	2023年度	2024年度	2025年度
タブレット活用等		企画立案	構築

05 デジタルの力を使って誰もが幸せに暮らせる社会の実現

業務のデジタル化

■ DXによるQOLの向上

- 今後、課題に即応し、将来にわたってQOSを上げていくために業務全般のDXの取組は急務です。
- 福祉局・保健医療局では、都民の生命や健康を守るため、福祉・医療の最前線である現場の様々なDXの取組を支援します。
- DXを促進することで、QOLを高め、都民の誰もが幸せに暮らせる社会を目指します。

■ 注目されるテクノロジー

- 業務に応じて、システム開発が簡易にできるツール（ノーコードツールなど）の活用により、スピード感をもってデジタル化を進めます。
- 効果的なデジタル化の取組は、福祉局・保健医療局内で共有し、組織内の類似業務の横展開につなげていきます。

■ 福祉・医療現場のDX

- 福祉・医療の最前線である現場のDXの取組を支援し、都民サービスの向上につなげていきます。



05 デジタルの力を使って誰もが幸せに暮らせる社会の実現

生活福祉

生活保護受給者への連絡手段のデジタル化

郵送などによる連絡通知に加えて、SMSを活用したプッシュ通知を行うことにより都民サービスの向上を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
西多摩福祉事務所	企画立案	構築	運用

生活福祉

子どもの学習支援におけるオンライン化

困窮家庭の子どもへのタブレット貸出、オンライン学習のコンテンツを作成することにより、学習支援の効率化と、より多くの学習機会の提供を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
西多摩福祉事務所		企画立案	構築・運用

子供・子育て

ベビーシッター利用に向けたデジタル機器導入支援

ベビーシッターを保護者がより安心して利用できるようICTを活用した環境整備等に取り組む事業者に対して、ウェブカメラの購入経費等を補助する。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助		費用補助	

子供・子育て

学童クラブにおけるデジタル化支援

学童等でデジタル化を進める区市町村に財政支援を行う。

- ① デジタル化の推進（連絡帳の電子化、オンライン環境整備、入退室管理システムの導入等）
- ② 研修のオンライン化
- ③ 通訳サービス等導入

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助		費用補助	

05 デジタルの力を使って誰もが幸せに暮らせる社会の実現

子供・子育て

児童相談所における公用スマートフォンの導入

家庭訪問や記録作成に活用するため、児童福祉司等に対して、1人1台の公用スマートフォンを導入する。

	2023年度	2024年度	2025年度
スマートフォン導入	対象職種を拡大		

高齢者

オンライン介護予防に取り組む区市町村への支援

オンラインツールを活用して行う介護予防・フレイル予防活動の体制整備に係る区市町村の取組を支援する。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助	費用補助		
伴走型支援		伴走型支援	

高齢者

スマートウォッチ等による健康リスク可視化アプリ開発

高齢者のバイタルや身体活動量を計測できるスマートウォッチ等を用いながら、在宅中も健康状態の把握や病気の予兆を察知できるアプリの開発等に繋げ、高齢者の行動変容を促し、健康増進を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
アプリ	開発	実証運用	実用化

高齢者

ICTを活用した地域見守り等に取り組む区市町村への支援

見守りのためのICT機器を導入するとともに、孤立化防止や介護予防につなげるなど、地域の見守り体制の強化に向けた新たな仕組みを構築する区市町村を支援する。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助	費用補助		

05 デジタルの力を使って誰もが幸せに暮らせる社会の実現

障害者

意思疎通を支援する情報保障機器の開発等支援

対象者が少なく製品化が進まない情報保障機器を都の窓口を設置し、使用状況等を開発メーカー等へフィードバックすることにより、障害者に対応した機器の開発・普及促進を支援する。

	2023年度	2024年度	2025年度
情報保障機器		窓口への設置	

障害者

情報保障機器の普及促進

障害者とその家族、区市町村職員等に対して、最新の情報保障機器等について積極的に情報提供することで、障害者の情報保障を推進する。

	2023年度	2024年度	2025年度
普及促進		機器展への出展	

障害者

障害者施設自主製品のネット通販（KURUMIRU）

福祉施設の商品を扱うトライアルショップ「KURUMIRU」を安定して運営するとともに、ネット通販を展開し、就労継続支援B型事業所における自主製品の販路拡大及び工賃向上を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
ネット通販		サイト運営	

障害者

就労継続支援B型事業所のデジタルを活用した営業・マッチング支援

就労継続支援B型事業所に対し、事業所の状況に応じて仕事が受注できるよう、企業と事業所の間で仕事のマッチングができる環境を構築し、営業活動を支援する。

	2023年度	2024年度	2025年度
サイト		構築・運用	運用

05 デジタルの力を使って誰もが幸せに暮らせる社会の実現

医療

オンライン医療相談・診療等の環境整備支援

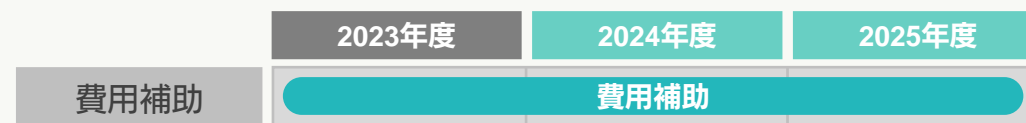
かかりつけ医等によるオンライン医療相談・診療等を推進するため、情報通信機器等の初期経費を支援し、在宅医療の推進を図る。



医療

デジタル技術の活用を推進する地区医師会への支援

デジタル技術を活用した区市町村が実施する既存の在宅療養推進の取組に加え、地区医師会を主体とした取組についても支援し、地域における在宅医療体制の構築を推進する。



医療

オンラインを活用した病診連携の支援

オンラインの活用などにより、専門医療を提供する病院と地域において在宅医療に取り組む医療機関とが連携する取組を支援することにより、地域における在宅医療の推進強化を図る。



06 最先端テクノロジーによる福祉・保健医療分野の業務改革

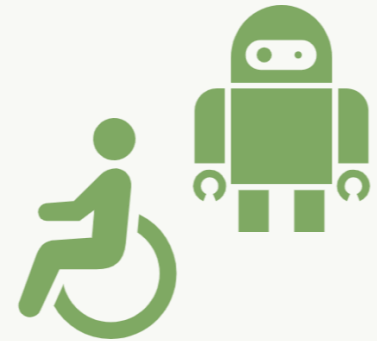
AI・ロボット・IoT、デジタルツインの活用

■ 最先端テクノロジーを福祉・保健医療分野へ

- 近年、問診のAI化や介護ロボットなど先進的な技術開発が進んでいます。
- 福祉・保健医療サービスの質の向上に資するAI技術や次世代介護機器等のテクノロジーの導入を積極的に支援し、都民のQOLの向上につなげます。
- 女性相談支援センター、児童相談所、保健所における記録の正確性向上と業務の効率化のため、AI音声マイニング技術の導入を進めます。

■ 注目されるテクノロジー

- ChatGPTに代表される大規模言語モデル（LLM）をはじめとした文章生成AIが、様々な業務の効率化をもたらすことが期待されています。
- ロボティクス技術は日々進化しており、介護現場におけるロボットの活用など、介護職員の業務負担の軽減に取り組むとともに、分身ロボット等を活用した重度障害者の就労を支援します。
- 島しょ等医療において、地域の医師と専門医をオンラインでつなぎ、専門医の助言を受けながら診察を行う遠隔連携診療を推進します。



06 最先端テクノロジーによる福祉・保健医療分野の業務改革

子供・子育て

児童相談所におけるAI音声マイニングシステム導入

都児童相談所のケースワークにおける記録の補助を行うため、電話の音声データの文字起こしを行うシステムを導入するとともに、スマートフォンの内線化を進めることで、業務の効率化を図る。

	2023年度	2024年度	2025年度
システム導入	2か所	2か所	2か所

高齢者

次世代介護機器の導入、通信環境整備等の支援

介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化など、介護環境の改善に資する次世代介護機器の導入、見守り支援機器の導入に伴う通信環境整備等の一体整備に必要な経費を支援する。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助	費用補助	対象拡充	

高齢者

介護施設における分身ロボットの活用支援や掃除・配膳ロボットの導入支援

介護業務及び介護の周辺業務における介護職員の負担軽減を図るため、分身ロボットや掃除・配膳ロボットを導入する介護施設を支援する。

	2023年度	2024年度	2025年度
分身ロボット	モデル実施	費用補助	※
掃除・配膳ロボット	費用補助		※

※予算編成過程において検討

高齢者

GPS機器等のIoTを活用した早期発見の仕組みづくり等に取り組む区市町村への支援

GPS機器等を活用した行方不明になった認知症高齢者等を早期に発見するための取組や、認知症の人と家族を地域で支えるためのネットワークの構築、家族会の育成・支援などの仕組みを構築する区市町村を支援する。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助		費用補助	

06 最先端テクノロジーによる福祉・保健医療分野の業務改革

障害者

デジタル技術を活用した重度障害者就労支援

外出が困難で一般就労が難しい在宅の重度障害者に対して、遠隔操作が可能な分身ロボットや意思伝達システム等を活用し、重度肢体不自由等の重度障害者の就労を支援するための検証を行う。

	2023年度	2024年度	2025年度
モデル事業		検証	※

※予算編成過程において検討

障害者

障害当事者ノウハウA Iチャットボット導入

A Iチャットボットを活用して障害当事者や支援者が有する「生活の知恵」や「困りごとを乗り越える工夫」情報発信する仕組みを構築する。

	2023年度	2024年度	2025年度
A Iチャットボット		企画立案	構築・運用
			運用

医療

島しょ、へき地における遠隔連携診療

遠方の専門医とへき地の医療機関の医師をオンラインで結び、専門医の助言を受けながら診察を行う遠隔連携診療を実施するための費用を支援し、遠隔連携診療が日常診療のツールとして活用されるよう支援する。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助		費用補助	

医療

病院の働き方改革に資するA I技術等の活用支援

中小病院や有床診療所を対象に、医療機関における「働き方改革」等に資するA I技術（A I問診、音声自動入力等）の活用を支援し、医療従事者の負担軽減等、勤務環境を整備する。

	2023年度	2024年度	2025年度
費用補助		費用補助	
好事例展開			好事例展開

5 今後の取組

(1) 局事務事業

(2) 都政の構造改革

- ① ワークスタイル変革
- ② 事業所DX
- ③ 行政手続のデジタル化
- ④ 窓口のDX

都政の構造改革 目標サマリ

都政の構造改革として、①ワークスタイル変革 ②事業所DX ③行政手続のデジタル化 ④窓口のDXを実施

取組項目		～2023年度	2024年度	2025年度
①ワークスタイル変革	A テレワークの総合的な満足度	— (73%※1)		80%以上 (80%以上)
	B Teamsの活用率	90%		100%
	C 文章生成AIの利用登録職員数	1,000人		1,757人 ※事務職+ICT職員人数100%
	D 未来型オフィスの整備	36% (50%※1)		100% (100%)
	E 未来型オフィス環境の職員満足度	— (61%※2)		80%以上
②事業所DX	事業所における業務改革	68%	75%	100% (100%)
③行政手続のデジタル化	行政手続のデジタル化率	75% (70%)	85% (—)	95% (90%)
④窓口のDX	A オンライン予約システム導入率	—	一部先行実施	100% (100%)
	B ユーザーレビュー満足度	—	50%	70% (70%)
	C キャッシュレス端末導入率	5%	100% (100%)	

() は「シン・トセイ4」の全庁目標数字
 ※1...2023年度実績 (シン・トセイ)
 ※2...2022年度実績 (シン・トセイ)

①ワークスタイル変革（目標と取組計画）

テレワークを活用した働き方の実践

- 2025年度までに、テレワークに関する職員の満足度80%以上を目指します。

A テレワークの総合的な満足度

2023年度実績

テレワークに関する職員の満足度
「総合的に満足・やや満足」

73%

2024年度取組

- 「テレワーク活用による最適な働き方に向けた取組・TIPs集」を活用し、ノウハウを周知・浸透
- テレワークQ&Aを周知

2025年度目標

テレワークに関する職員の満足度
「総合的に満足・やや満足」

80%以上

2023年度実績は全庁結果。2025年度目標は福祉局・保健医療局も全庁の目標と同水準を目指す。

デジタルコミュニケーションツールの利用率向上

- 2025年度までに、デジタルコミュニケーションツールの活用率向上を目指します。

B Teamsの活用率

2023年度実績

90%

2025年度目標

100%

- (2024年度取組)
- 活用説明会の開催
 - 効果的な活用事例紹介

C 文章生成AIの利用登録職員数

1,000人

2023年度実績

1,757人

2025年度目標

【福祉局・保健医療局】
事務職+ICT職員人数
100%

- (2024年度取組)
- 活用説明会の開催
 - 効果的な活用事例紹介

①ワークスタイル変革（目標と取組計画）

未来型オフィスの整備

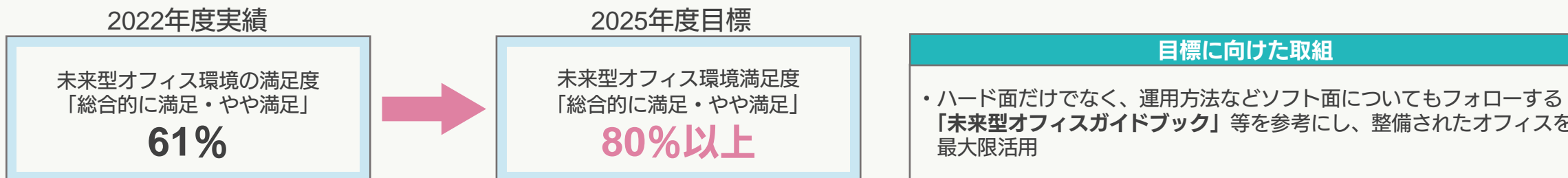
- 2025年度までに、福祉局・保健医療局全14部で未来型オフィスへの移行を完了します。

D 未来型オフィスの整備

2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
福祉保健局		福祉局	保健医療局	福祉局	保健医療局	福祉局	保健医療局
総務部		総務部	総務部	総務部	総務部	総務部	総務部
企画部		企画部	企画部	企画部	企画部	企画部	企画部
指導監査部	保健政策部	指導監査部	保健政策部	指導監査部	保健政策部	指導監査部	保健政策部
生活福祉部	医療政策部	生活福祉部	医療政策部	生活福祉部	医療政策部	生活福祉部	医療政策部
少子社会対策部	都立病院支援部	子供・子育て支援部	都立病院支援部	子供・子育て支援部	都立病院支援部	子供・子育て支援部	都立病院支援部
高齢社会対策部	健康安全部	高齢者施策推進部	健康安全部	高齢者施策推進部	健康安全部	高齢者施策推進部	健康安全部
障害者施策推進部	感染症対策部	障害者施策推進部	感染症対策部	障害者施策推進部	感染症対策部	障害者施策推進部	感染症対策部

- 2025年度までに、職員の未来型オフィス環境の満足度80%以上を目指します。

E 未来型オフィスの職員満足度



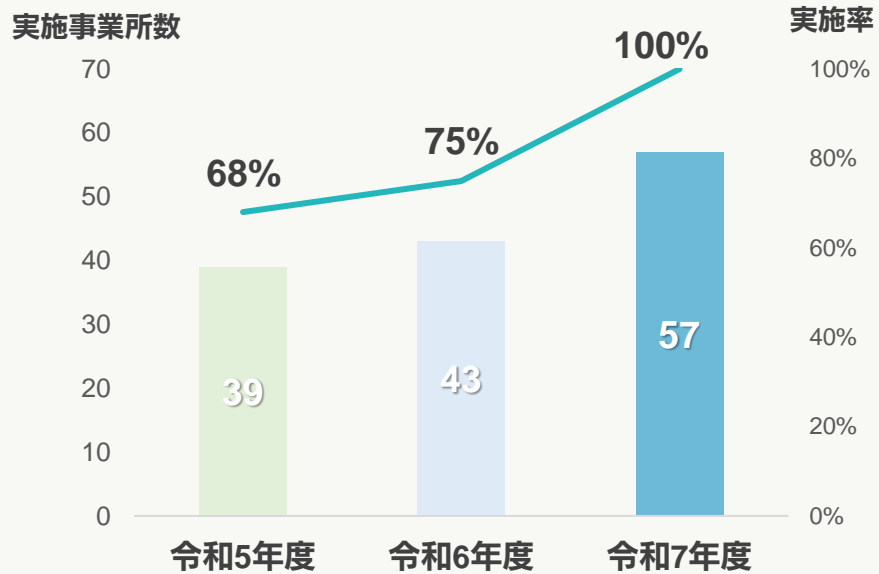
2022年度実績は全庁結果。2025年目標は福祉局・保健医療局も全庁と同じ水準を目指す。

②事業所DX（目標と対象事業所一覧）

事業所における業務改革

- 2025年度までに福祉局・保健医療局全ての事業所（全57事業所）で、デジタルツールを活用した業務改革を実践します。

業務改革の実施計画



内容	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業所における業務改革	56% (32事業所)	68% (39事業所)	75% (43事業所)	100% (57事業所)

事業所一覧（全57事業所※）

西多摩福祉事務所	心身障害者福祉センター	島しょ保健所三宅出張所
児童相談センター	心身障害者福祉センター多摩支所	島しょ保健所八丈出張所
児童相談センター西部分室	障害者福祉会館	島しょ保健所小笠原出張所
立川児童相談所	北療育医療センター	監察医務院
立川児童相談所南分室	北療育医療センター城南分園	広尾看護専門学校
江東児童相談所	北療育医療センター城北分園	荏原看護専門学校
八王子児童相談所	府中療育センター	府中看護専門学校
八王子児童相談所分室	中部総合精神保健福祉センター	北多摩看護専門学校
足立児童相談所	多摩総合精神保健福祉センター	青梅看護専門学校
足立児童相談所分室	精神保健福祉センター	南多摩看護専門学校
北児童相談所	西多摩保健所	板橋看護専門学校
品川児童相談所	南多摩保健所	東京都健康安全研究センター
杉並児童相談所	多摩立川保健所	市場衛生検査所
小平児童相談所	多摩府中保健所	市場衛生検査所大田出張所
多摩児童相談所	多摩小平保健所	市場衛生検査所足立出張所
萩山実務学校	島しょ保健所	芝浦食肉衛生検査所
誠明学園	島しょ保健所大島出張所	動物愛護相談センター
女性相談支援センター	島しょ保健所大島出張所新島支所	動物愛護相談センター城南島出張所
女性相談支援センター多摩支所	島しょ保健所大島出張所神津島支所	動物愛護相談センター多摩支所

※指定管理者により管理運営される施設を除く

②事業所DX（事業所別目標と取組計画）

1 福祉事務所

【2023年度以降の取組】

①生活保護受給者への連絡手段のデジタル化（SMSによるプッシュ通知）

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
西多摩福祉事務所	企画立案	構築	運用

②子どもの学習支援におけるオンライン化、タブレット導入等

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
西多摩福祉事務所		企画立案	構築・運用

②事業所DX（事業所別目標と取組計画）

2 都児童相談所

【2022年度までの取組】

全ての都児童相談所で以下の取組みを実施

- ・WEB上での面接・相談のためのタブレット端末の導入や一時保護所におけるタブレット端末及び教育コンテンツ導入
- ・公用スマートフォンの導入、児童相談所情報管理システムの再構築

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
全都児童相談所	運用		

【2023年度以降の取組】

A | 音声マイニングシステムの導入（2023年度：児童相談センター、多摩児童相談所。以降、順次導入）

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
立川児童相談所	2022年度先行導入	運用	運用
児童相談センター	導入	運用	運用
多摩児童相談所	導入	運用	運用
北児童相談所		2か所導入予定 (調整中)	2か所導入予定 (調整中)
品川児童相談所			
杉並児童相談所			
足立児童相談所			
江東児童相談所			
小平児童相談所			
八王子児童相談所			

②事業所DX（事業所別目標と取組計画）

3 児童自立支援施設

【2023年度以降の取組】

入所児童情報管理システムの構築

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
萩山実務学校	業務分析・PoC		要件定義
誠明学園			

4 女性相談支援センター

【2023年度以降の取組】

①電話相談支援システムの構築

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
女性相談支援センター	企画立案	設計・システム構築	運用
女性相談支援センター多摩支所			

②相談保護管理システムの再構築

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
女性相談支援センター	企画立案	アセスメント	設計・システム構築
女性相談支援センター多摩支所			

②事業所DX（事業所別目標と取組計画）

5 心身障害者福祉センター

【2023年度以降の取組】

①ローコードツールを活用した講習会WEB申込み

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
心身障害者福祉センター多摩支所	構築	運用	

②社会生活評価プログラム等の電子申請

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
心身障害者福祉センター	構築	運用	

②事業所DX（事業所別目標と取組計画）

6 障害者福祉会館

【2023年度以降の取組】

集会室の利用受付業務のデジタル化

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
障害者福祉会館	業務分析	企画立案	システム構築

7 療育センター

【2023年度以降の取組】

電子カルテシステムの構築

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
北療育医療センター		要件定義	システム構築
北療育医療センター城南分園	要件定義	システム構築	運用
北療育医療センター城北分園	要件定義	システム構築	運用
府中療育センター		要件定義	システム構築

②事業所DX（事業所別目標と取組計画）

8 精神保健福祉センター

【2023年度以降の取組】

①精神保健福祉相談記録等のデジタル化

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
精神保健福祉センター			
中部総合精神保健福祉センター	業務分析	企画立案	システム構築
多摩総合精神保健福祉センター			

②アウトリーチ支援事業における記録・実績入力システムの構築

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
精神保健福祉センター			
中部総合精神保健福祉センター	業務分析	企画立案	システム構築
多摩総合精神保健福祉センター			

②事業所DX（事業所別目標と取組計画）

9 都保健所

【2022年度までの取組】

全ての都保健所で、新型コロナウイルス対応における患者対応管理ツールやウェアラブル端末の導入、通話内容の自動テキスト化（音声マイニングシステム）、SMSを活用した情報発信、チャットボットの活用 等

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
全都保健所	運用		

【2023年度以降の取組】

①音声マイニングシステムのアップグレード

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
西多摩保健所	企画立案	先行導入	運用
南多摩保健所			導入
多摩立川保健所			導入
多摩府中保健所			導入
多摩小平保健所			導入
島しょ保健所		(他保健所と比べて相談件数が少ないため、導入について別途検討を継続)	

(2022年度までの取組の「通話内容の自動テキスト化（音声マイニングシステム）」との違い)

- ・[現状版] 通話終了後にテキスト化が行われる → [アップグレード版] リアルタイムで通話内容がテキスト化（他職員による迅速な相談サポート）
- ・[現状版] パソコン回線で通話を行うシステム → [アップグレード版] 保健所代表電話で対応する（応答率の向上）

②事業所DX（事業所別目標と取組計画）

②結核業務における患者対応管理ツールの導入

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
西多摩保健所			導入
南多摩保健所			導入
多摩立川保健所		先行導入	運用
多摩府中保健所		先行導入	運用
多摩小平保健所			導入
島しょ保健所			導入

③食品衛生監視指導におけるDX

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
西多摩保健所			
南多摩保健所			
多摩立川保健所	企画立案	システム構築	運用
多摩府中保健所			
多摩小平保健所			
島しょ保健所			

②事業所DX（事業所別目標と取組計画）

10 監察医務院

【2023年度以降の取組】

物品管理及び検案業務のデジタル化

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
監察医務院	業務分析	企画立案	システム構築

11 看護専門学校

【2023年度以降の取組】

①インターネット出願受付システムの構築

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
広尾看護専門学校	構築	運用	
荏原看護専門学校			
府中看護専門学校			
北多摩看護専門学校			
青梅看護専門学校			
南多摩看護専門学校			
板橋看護専門学校			

②事業所DX（事業所別目標と取組計画）

②授業料徴収システムの構築

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
広尾看護専門学校		構築	運用
荏原看護専門学校			
府中看護専門学校			
北多摩看護専門学校			
青梅看護専門学校			
南多摩看護専門学校			
板橋看護専門学校			

1 2 東京都健康安全研究センター

【2022年度までの取組】

薬事監視業務へのタブレット導入（試行）

【2023年度以降の取組】

薬事監視業務へのタブレット導入、更なる機能拡充

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
東京都健康安全研究センター	構築	運用・機能拡充	

②事業所DX（事業所別目標と取組計画）

1.3 市場衛生検査所

【2022年度までの取組】

衛生監視業務へのタブレット導入とノーコード／ローコードツールの活用

【2023年度以降の取組】

衛生監視業務の更なるDX

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
市場衛生検査所			
市場衛生検査所大田出張所	運用・改善		
市場衛生検査所足立出張所			

1.4 芝浦食肉衛生検査所

【2022年度までの取組】

衛生監視業務や危機管理対応等へのタブレット導入とノーコード／ローコードツールの活用

【2023年度以降の取組】

衛生監視業務や危機管理対応等の更なるDX

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
芝浦食肉衛生検査所	運用・改善		

②事業所DX（事業所別目標と取組計画）

1.5 動物愛護相談センター

【2023年度以降の取組】

①動物取扱業に対する監視業務へのタブレット等導入

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
動物愛護相談センター			
動物愛護相談センター城南島出張所		企画立案	構築
動物愛護相談センター多摩支所			

②相談記録データベースのノーコードによる構築

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度
動物愛護相談センター多摩支所	PoC・構築	運用	

③行政手続のデジタル化

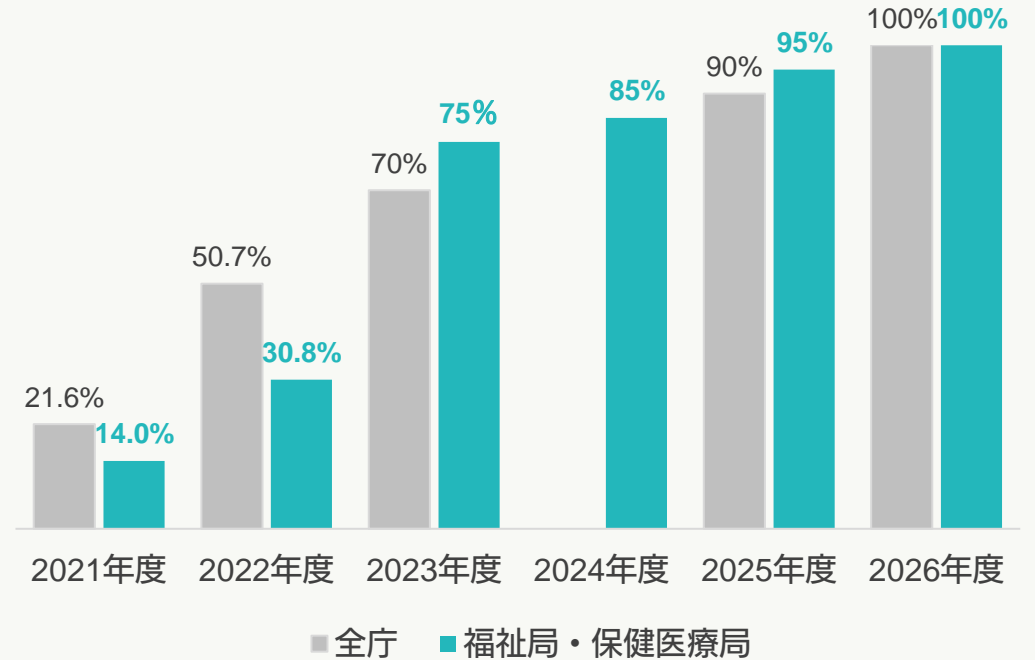
行政手続のデジタル化の背景、全体計画

- 2021年4月1日「東京デジタルファースト条例」の施行により、書面を前提としてきた都の行政手続（許認可、届出、証明、閲覧、補助金申請、施設利用など）について、いつでもどこでもデジタルで完結できるよう環境を整備しています。
- こうした中、福祉局・保健医療局は「2025年度までに行政手続デジタル化95%達成」を目標に、各種行政手続のデジタル化を強力に推進します。
- 2023年度、局内各部における行政手続デジタル化に向けた取組の前倒しにより、2023年度末には全庁目標70%を超えるデジタル化率（75%）を達成する見込みです。

項目 (プロセス数)	評価指標	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全庁 (約28,000)	行政手続の デジタル化率	50.7%	70%	—	90%
福祉局・ 保健医療局 (約8,000)		30.8%	75%	85%	95%

※2023年度は見込数値
2024年度以降は目標値

福祉局・保健医療局の行政手続のデジタル化率



③行政手続のデジタル化

2025年度までの取組計画



- 2023年度、デジタルサービス局主催の電子申請システムの操作に関する研修に福祉局・保健医療局から職員が参加し、jGrantsやLoGoフォームを用いたWEBフォームを多数作成し、テンプレートとして福祉局・保健医療局内各部に展開しました。
- 2024年度以降、福祉局・保健医療局内でテンプレートなどを活用した独自研修を開催し、好事例の共有を図ることで、行政手続のデジタル化を一層促進します。

項目	2023年度	2024年度	2025年度
jGrants・LoGoフォーム 活用促進	テンプレート 公開	独自研修 (デジタル化率向上)	

③行政手続のデジタル化

行政手続のデジタル化（2023年度）

- 福祉局及び保健医療局が管轄する行政手続のデジタル化を強力に推進し、2023年度に「jGrants」及び「LoGoフォーム」により1,019プロセスのデジタル化を実現見込みです。

電子申請システム名	システム概要	2023年度実績
	デジタル庁が運営する補助金の電子申請システム	<ul style="list-style-type: none">・路上生活者対策事業運営費補助金（生活福祉部）・東京都地域自殺対策強化補助事業補助金（保健政策部）・東京都感染症診療医療機関施設・設備費補助金（感染症対策部） 等 全734プロセス
	株式会社トラストバンク社が「LGWAN-ASPサービス」として提供している電子申請システム	<ul style="list-style-type: none">・保育士試験受験資格の知事認定（子供・子育て支援部）・喀痰吸引等登録研修機関の登録申請（高齢者施策推進部）・都立看護専門学校証明書交付申請（医療政策部）・結核定期病状調査報告（感染症対策部） 等 全285プロセス

④窓口のDX

窓口業務の改革

- 窓口における待ち時間軽減のため、対象となる全窓口でオンライン予約システムを導入します。
- 利用者意見を窓口業務の改善に反映させるため、対象となる窓口（全46窓口）でユーザーレビューを実施します。
- 窓口でのキャッシュレス決済が可能となるよう、対象となる窓口（全42窓口）にキャッシュレス端末を導入します。

項目	評価指標	2023年度	2024年度	2025年度
A オンライン予約システムの導入 (窓口数未定)	システム導入率	(オンライン予約システム導入に向けた調査を実施)	一部先行実施 ※待ち時間の多い窓口に優先的に導入	100%
B ユーザーレビューの実施 (全46窓口)	実施窓口数	全46窓口で実施 (但し、うち3窓口は2022年度に実施済み) ※以後、毎年実施	サービス改善の取組 ※対象となる窓口新設の都度、随時ユーザーレビュー実施	サービス改善の取組 ※対象となる窓口新設の都度、随時ユーザーレビュー実施
	満足度	—	50%	70%
C キャッシュレス端末の導入 (全42窓口)	端末導入率	5%	100%	新規収納事務発生の都度、随時キャッシュレス端末導入

④窓口のDX

ユーザーレビュー実施（46窓口）

福祉局

窓口	手続等
児童相談センター	窓口各種手続
北児童相談所	窓口各種手続
品川児童相談所	窓口各種手続
杉並児童相談所	窓口各種手続
足立児童相談所	窓口各種手続
江東児童相談所	窓口各種手続
立川児童相談所	窓口各種手続
小平児童相談所	窓口各種手続
八王子児童相談所	窓口各種手続
多摩児童相談所	窓口各種手続
生活福祉部企画課	恩給請求・軍歴証明書の発行手続等
生活福祉部地域福祉課	窓口相談
生活福祉部地域福祉課	窓口相談 ※一般社団法人生活サポート基金による生活再生相談
精神保健福祉センター	窓口各種手続

保健医療局

窓口	手続等
保健政策部健康推進課	栄養士・管理栄養士免許手続
西多摩保健所	窓口各種手続
南多摩保健所	窓口各種手続
多摩立川保健所	窓口各種手続
多摩府中保健所	窓口各種手続
多摩小平保健所	窓口各種手続
島しょ保健所大島出張所	窓口各種手続
島しょ保健所大島出張所 新島支所	窓口各種手続
島しょ保健所大島出張所 神津島支所	窓口各種手続
島しょ保健所三宅出張所	窓口各種手続
島しょ保健所八丈出張所	窓口各種手続
島しょ保健所小笠原出張所	窓口各種手続
医療政策部医療安全課	医療法関係手続
広尾看護専門学校	入試関連手続
荏原看護専門学校	入試関連手続
府中看護専門学校	入試関連手続

窓口	手続等
北多摩看護専門学校	入試関連手続
青梅看護専門学校	入試関連手続
南多摩看護専門学校	入試関連手続
板橋看護専門学校	入試関連手続
監察医務院①	死体検案書交付手続
監察医務院②	保険意見書交付手続
健康安全部健康安全課	調理師・製菓衛生師・ふぐ取扱責任者・クリーニング師に関する各種手続
健康安全部業務課①	覚醒剤研究者指定等手続
健康安全部業務課②	医薬品等製造販売承認手続
東京都健康安全研究センター①	医療機器製造販売業許可等手続
東京都健康安全研究センター②	医薬品製造販売業・製造業許可等手続
東京都健康安全研究センター③	医薬品卸売販売業、再生医療等製品販売業、配置販売業、毒物劇物製造業・輸入業許可等手続
東京都健康安全研究センター④	地域連携薬局・専門医療機関連携薬局認定手続
動物愛護相談センター	動物の愛護及び管理に関する法律等に基づく各種手続
動物愛護相談センター多摩支所	動物の愛護及び管理に関する法律等に基づく各種手続
芝浦食肉衛生検査所	衛生証明に係る手続

④窓口のDX

キャッシュレス端末導入（42窓口）

福祉局

窓口	手続等
総務部総務課	情報公開手数料等
生活福祉部企画課	証明書に関する発行手数料
北療育医療センター	診療費、診断書料等発行手数料
北療育医療センター城北分園	診療費、診断書料等発行手数料
北療育医療センター城南分園	診療費、診断書料等発行手数料
府中療育センター	診療費、診断書料等発行手数料
中部総合精神保健福祉センター	診療費、診断書料等発行手数料
多摩総合精神保健福祉センター	診療費、診断書料等発行手数料
精神保健福祉センター	診療費

保健医療局

窓口	手続等
総務部総務課	情報公開手数料等
西多摩保健所	食品営業許可手数料、試験検査料等
西多摩保健所秋川地域センター	食品営業許可手数料、試験検査料等
南多摩保健所	食品営業許可手数料、試験検査料等
多摩立川保健所	食品営業許可手数料、試験検査料等
多摩府中保健所	食品営業許可手数料、試験検査料等
多摩府中保健所 武蔵野三鷹地域センター	食品営業許可手数料、試験検査料等
多摩小平保健所	食品営業許可手数料、試験検査料等
島しょ保健所大島出張所	食品営業許可手数料、試験検査料等
島しょ保健所大島出張所 新島支所	食品営業許可手数料、試験検査料等
島しょ保健所大島出張所 神津島支所	食品営業許可手数料、試験検査料等
島しょ保健所三宅出張所	食品営業許可手数料、試験検査料等
島しょ保健所八丈出張所	食品営業許可手数料、試験検査料等
島しょ保健所小笠原出張所	食品営業許可手数料、試験検査料等
医療政策部医療安全課	医療法に係る証明書発行手数料
医療政策部医療人材課①	閉校校の証明書発行手数料
医療政策部医療人材課②	研修修了証明書発行手数料

窓口	手続等
監察医務院	死体検案書、保険意見書の発行
広尾看護専門学校	成績・卒業等証明書発行
荏原看護専門学校	成績・卒業等証明書発行
板橋看護専門学校	成績・卒業等証明書発行
府中看護専門学校	成績・卒業等証明書発行
北多摩看護専門学校	成績・卒業等証明書発行
青梅看護専門学校	成績・卒業等証明書発行
南多摩看護専門学校	成績・卒業等証明書発行
健康安全部健康安全課	免許交付・資格証明発行
健康安全部業務課①	免許・登録・指定申請等手数料
健康安全部業務課②	承認審査、承認書発行
東京都健康安全研究センター	許可審査、許可書・書類発行
動物愛護相談センター	動物の愛護及び管理に関する法律等に基づく各種申請手続
動物愛護相談センター多摩支所	動物取扱業登録申請等
動物愛護相談センター 城南島出張所	動物取扱業登録申請等
芝浦食肉衛生検査所	と畜検査証明書等発行

6 こどもDXの推進

こどもDXの推進【東京こどもDX2025 つながる子育て推進会議】

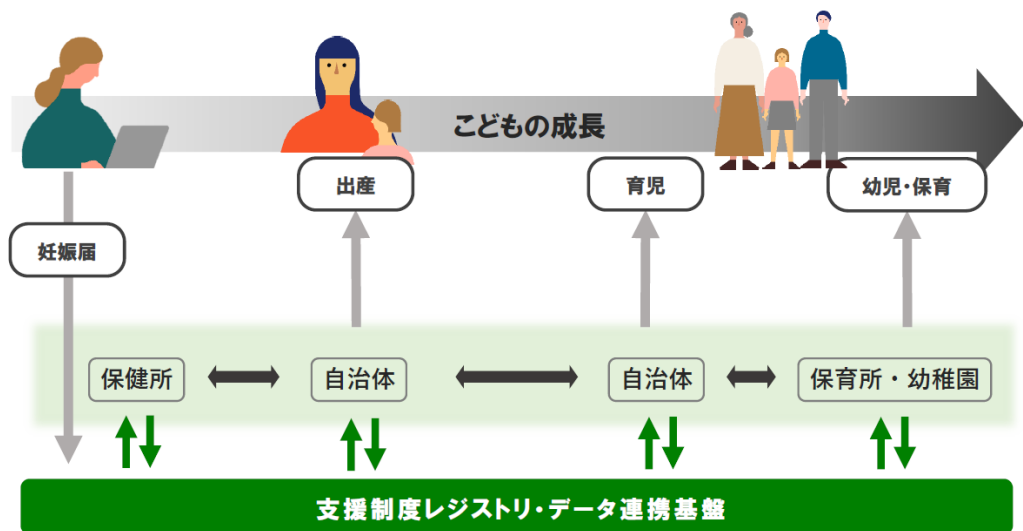
事業名 こどもDXの推進

- 国、区市町村、民間団体等関係者の力を結集し、都内からデジタルでサービスの質が上がったと実感できる取組を開始し、全国に展開できるサービスの実装を加速
- 子育てサービスの手続きに必要な情報が先回りでタイムリーに届く「プッシュ型子育てサービス」や、保育園探しから入園までの手続きがオンラインで完結する「保活ワンストップ」等を2025年度までに都内で実現

こどもDX 2025年度までに実現する4つのプロジェクト

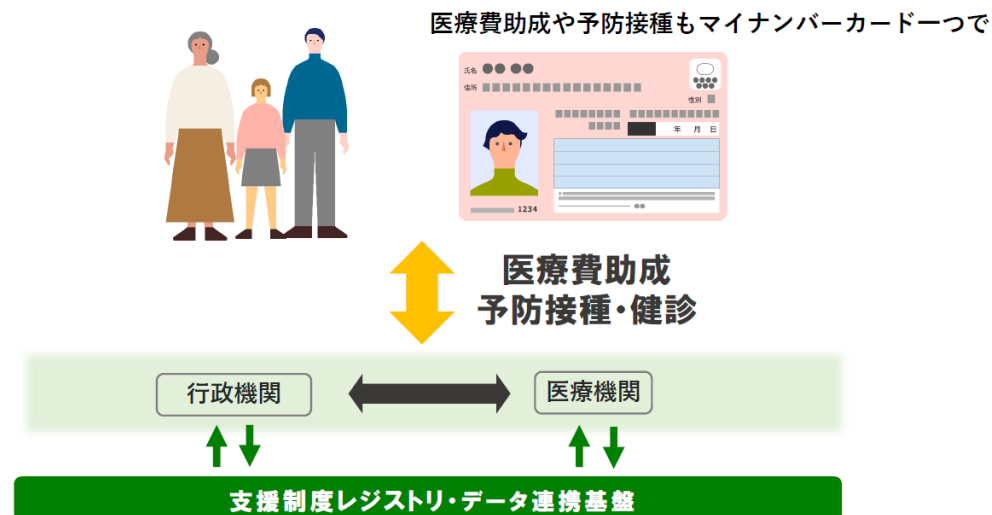
プッシュ型 子育てサービス

アプリから必要な情報が先回りで届き、
知りそびれや申請忘れをなくす



母子保健オンライン サービス (PMH)

政府が実証中の基盤を活用し、マイナンバー
カード一つで医療費助成や予防接種を申請



こどもDXの推進【東京こどもDX2025 つながる子育て推進会議】

事業名 こどもDXの推進

こどもDX 2025年度までに実現する4つのプロジェクト

保活ワンストップ

保育園探しから入園までの手続きがオンラインで完結するワンストップシステムを実現

保育園探しから入園までの手続きがワンズオンリー・オンラインで完結

保護者



ワンストップの入園システム

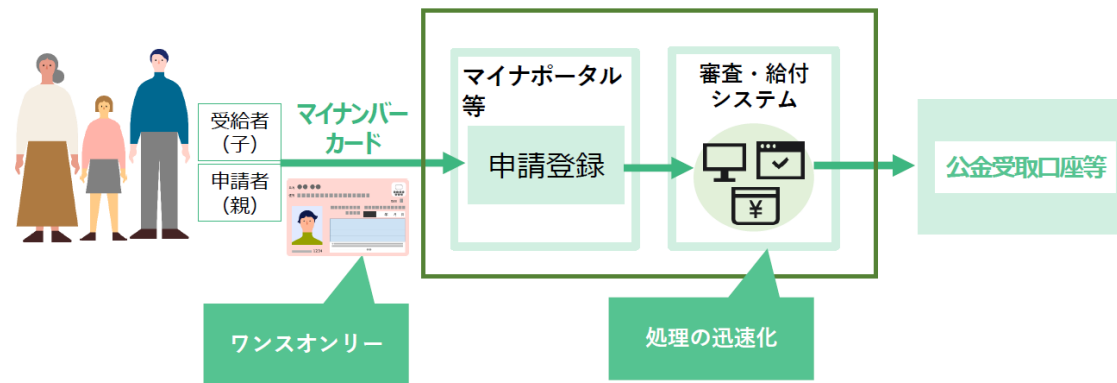
自治体担当者



給付金手続きの 利便性UP

国、自治体の連携のもと、ワンズオンリーの徹底や簡単便利で爆速の手続きを実現

こどもの成長を支えるための給付金等についても、国、区市町村と連携し、ワンズオンリーの徹底や簡単便利な手続きを実現



※2024年度は、018サポートの利便性向上のため、国が提供するシステムを活用

福祉局・保健医療局は「つながる子育て推進会議」の構成メンバーの一員として、関係局と連携しつつ、4つのプロジェクトに取り組んでいきます。

参考資料

重点事業・局事業一覧

重点事業・局事業一覧

領域	No.	取組	重点事業	施策分類	記載ページ
生活福祉	001	福祉人材確保のためのマーケティングツールの導入	✓	03	P19
	002	福祉分野における修学資金申請・審査システムの構築	✓	04	P22
	003	軍歴・恩給システムの再構築		02	P41
	004	東京都福祉人材情報バンクシステム「ふくむすび」の再構築		03	P44
	005	東京都福祉人材センターにおける求職相談等のオンライン化		03	P44
	006	医療費助成事務システムの再構築		04	P49
	007	生活保護システムの再構築		04	P49
	008	生活保護受給者への連絡手段のデジタル化		05	P53
	009	子どもの学習支援におけるオンライン化		05	P53
子供・子育て	010	母子保健情報デジタル化	✓	05	P26
	011	女性相談支援センターの電話相談業務等のDX	✓	06	P28
	012	「とうきょう子育てスイッチ」のポータルサイト、アプリによる子育て支援情報発信		01	P34
	013	チャットボットによる「妊娠したかも相談@東京」の実施		01	P34
	014	動画配信による「プレコンセプションケア」の普及啓発		01	P34
	015	わかさぼYouTube等による広報動画		01	P34
	016	子育て支援員研修のオンライン化		01	P35
	017	LINEによる児童虐待防止相談		01	P35
	018	LINEによるひとり親家庭の相談（ひとり親家庭支援センター「はあとライン」）		01	P35
	019	児童相談所情報管理システムの再構築		02	P41
	020	入所児童情報管理システムの構築		02	P41
	021	保育所等におけるデジタル化支援		03	P44
	022	ベビーシッター利用に向けたデジタル機器導入支援		05	P53

重点事業・局事業一覧

領域	No.	取組	重点事業	施策分類	記載ページ
子供・子育て	023	学童クラブにおけるデジタル化支援		05	P53
	024	児童相談所における公用スマートフォンの導入		05	P54
	025	児童相談所におけるA I音声マイニングシステム導入		06	P58
高齢者	026	介護事業所の指定申請等のオンライン化	✓	01	P12
	027	シニア・プレシニアと社会参加活動のマッチングのためのオンラインプラットフォーム構築	✓	02	P17
	028	ビッグデータを活用した認知症予防研究		02	P41
	029	介護施設内におけるDX人材育成支援		03	P44
	030	オンライン介護予防に取り組む区市町村への支援		05	P54
	031	スマートウォッチ等による健康リスク可視化アプリ開発		05	P54
	032	ICTを活用した地域見守り等に取り組む区市町村への支援		05	P54
	033	介護施設における分身ロボットの活用支援や掃除・配膳ロボットの導入支援		06	P58
	034	次世代介護機器の導入、通信環境整備等の支援		06	P58
	035	GPS機器等のIoTを活用した早期発見の仕組みづくり等に取り組む区市町村への支援		06	P58
障害者	036	精神科病院入院業務手続のオンライン化	✓	01	P13
	037	障害福祉サービス事業者指定申請等のオンライン化	✓	01	P14
	038	スマホ等による来庁の聴覚障害者への遠隔手話サービス		01	P35
	039	LINE、SMSによる精神障害者福祉手帳更新期限の通知		01	P36
	040	社会生活評価プログラム等の電子申請		01	P36
	041	集会室の利用受付業務のデジタル化		01	P36
	042	就労支援講習会のWEB申込み		01	P36
	043	自立支援医療（精神通院医療）受給者証発行業務におけるレセプト情報のデジタル化		02	P42
	044	東京都障害者IT地域支援センターの運営		03	P45

重点事業・局事業一覧

領域	No.	取組	重点事業	施策分類	記載ページ
障害者	045	障害者支援施設等におけるデジタル化支援		03	P45
	046	療育施設への電子カルテシステムの導入		03	P45
	047	障害福祉サービス等DX推進人材育成支援		03	P45
	048	アウトリーチ支援事業における記録・実績入力システムの構築		04	P49
	049	精神保健福祉相談記録等のデジタル化		04	P49
	050	意思疎通を支援する情報保障機器の開発等支援		05	P55
	051	障害者施設自主製品のネット通販（KURUMIRU）		05	P55
	052	情報保障機器の普及促進		05	P55
	053	就労継続支援B型事業所のデジタルを活用した営業・マッチング支援		05	P55
	054	デジタル技術を活用した重度障害者就労支援		06	P59
	055	障害当事者ノウハウAIチャットボット導入		06	P59

重点事業・局事業一覧

領域	No.	取組	重点事業	施策分類	記載ページ
保健	056	TOKYO WALKING MAPの再構築	✓	05	P27
	057	保健所の音声マイニングシステムのアップグレード	✓	06	P29
	058	SNSによる自殺相談		01	P37
	059	国家資格等情報連携・活用システムによる栄養士免許申請手続		01	P37
	060	チャットボットによる受動喫煙対策問合せ対応		01	P37
	061	がん検診実施機関の精度管理システムの構築		02	P42
医療	062	中小病院・有床診療所への電子カルテ導入支援	✓	03	P20
	063	医療法等に基づく立入検査DX	✓	04	P23
	064	都立病院における多言語版A I 問診システムの導入	✓	06	P30
	065	医療法人関連申請手続のデジタル化		01	P37
	066	都立看護専門学校インターネット出願受付システム（WEB出願/授業料徴収）の構築		01	P38
	067	看護師等修学資金貸与事務システムの構築		01	P38
	068	東京総合医療ネットワーク構築支援		02	P42
	069	島しょにおける医療関係者間コミュニケーションツールの導入		03	P46
	070	都内医療機関のサイバーセキュリティ対策支援		03	P46
	071	東京都多職種連携ポータルサイトの運用		03	P46
	072	脳卒中急性期医療機関間又はCCUネットワーク参画医療機関間における情報共有ツールの導入支援		03	P46
	073	医療機関への電子処方箋の普及促進		03	P47
	074	島しょ医療用画像電送システムによる診療支援		04	P50
	075	物品管理及び検案業務のデジタル化		04	P50
	076	オンライン医療相談・診療等の環境整備支援		05	P56
	077	デジタル技術の活用を推進する地区医師会への支援		05	P56

重点事業・局事業一覧

領域	No.	取組	重点事業	施策分類	記載ページ
医療	078	オンラインを活用した病診連携の支援		05	P56
	079	島しょ、へき地における遠隔連携診療		06	P59
	080	病院の働き方改革に資するA I 技術等の活用支援		06	P59
健康安全	081	食品営業許可業務のオンライン化	✓	01	P15
	082	動物愛護相談センターの相談記録データベースの再構築	✓	02	P18
	083	食品衛生監視指導におけるD X	✓	04	P24
	084	薬局、医薬品販売業等の届出等のオンライン化		01	P38
	085	食物アレルギー緊急時対応デジタルガイドランスの構築		01	P38
	086	薬局への電子処方箋の普及促進		03	P47
	087	麻薬免許管理システムの再構築		04	P50
	088	市場衛生検査所衛生監視業務のD X		04	P50
	089	芝浦食肉衛生検査所主要業務のD X		04	P51
	090	動物取扱業に対する監視業務のD X		04	P51
091	薬事監視業務のD X		04	P51	
感染症対策	092	結核業務における患者対応管理ツールの導入	✓	04	P25
	093	性感染症検査WEB予約システムの構築		01	P39

重点事業・局事業一覧

領域	No.	取組	重点事業	施策分類	記載ページ
共通	094	福祉・保健医療分野のデジタルプラットフォーム構築	✓	02	P16
	095	社会福祉施設等の指導検査DX	✓	04	P21